

文部科学省 令和元年度
「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

事業報告書



国立大学法人富山大学
男女共同参画推進室



目 次

ご挨拶

国立大学法人富山大学	学長 齋藤 滋	1
国立大学法人富山大学	理事 男女共同参画担当 武山 良三	2
国立大学法人富山大学	学長補佐 男女共同参画推進室長 宮内 伸子	3

富山県の取組み

富山県総合政策局 少子化対策・県民活躍課 女性活躍・働き方改革 推進班長 寺井 宏友	4
---	---

I 学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

1. プログラム概要	6
2. 申請書・計画書	8
◎ 資料・別紙	13

II 富山大学連携オーダーメイド型コース

1. 女性のためのキャリア UP 支援講座	18
2. 受講者のアンケート結果	29

III ミニフォーラム「女性が自分らしく輝くキャリア形成のために」

1. 基調講演	35
2. 事業報告（国立大学法人富山大学 男女共同参画推進室）	40
3. 企業参加型シンポジウム	43
1) 女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）からの報告	43
2) 各企業からの学び・キャリア形成支援の現状報告	44
3) 富山大学 学びのコーディネーターデスクからの報告	52
4) 総合討論	55

IV 総括

1. 受講者の事後アンケートの結果	60
2. 成果と課題	64
3. 研究協議会	70



ご挨拶

国立大学法人富山大学

学長 齋藤 滋



本学は平成30年度に引き続き、文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」の採択を受け、「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」と題して、大学が中核となり富山県内の各機関と連携して、女性の学び直し・再就職支援を行う実証事業に取り組みました。

富山県の労働人口の高齢化は全国平均よりも10年ほど早く進んでいて、働き手としての女性に期待がいよいよ高まっています。このような社会の側からの期待や要請のみならず、女性の側の社会参画の意欲をうまく結びつけ、充実した人生を送っていただけるようなシステムの構築が喫緊の課題といえます。富山大学は地域貢献の道を選択した大学であり、この課題に対しても、地域の知のセンターとして県内各機関の中核となって取り組む責務があると考えました。平成30年度に引き続き、本学が中心となり、大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク会議）、富山県、富山県女性財団、ハローワーク富山と連携して一体的支援に取り組み、富山型モデルを構築し、その実証事業を行いました。

本プログラムに参加した女性の方々は、再就職の際の選択肢を増やし、新たなキャリア形成の可能性を広げたことと思います。育児のため家庭にこもりがちな女性にとって、社会参加の機会ともなったことでしょう。女性社員のスムーズな職場復帰は、企業側から見ても人材育成にかけた手間・暇・コストが無駄にならずに生きることになります。また、育児により女性は人間的に大きく成長いたします。より豊かなパーソナリティを獲得した出産後の女性が復職することは、社会全体としての大きなメリットを有します。富山県は令和元年度の組織改編で、東京から富山への移住・U/IJターンを促進するため、「人材活躍推進センター」を設置しました。多様な人材活用の支援事業の一環として、「女性就業支援センター（マザーズジョブとやま）」も令和元年5月に開設されました。関連団体の皆さまのご活躍を祈念するとともに、富山型モデル「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」が全国に広まり、女性の活躍推進の助けになることを願ってやみません。

ご挨拶

国立大学法人富山大学 理事

男女共同参画担当 武山良三



富山大学は、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」（事業期間平成27～令和2年度）に採択され、国際的に活躍できる女性研究者の育成や女性教員比率の向上等に取り組んでいます。この事業では、①意識を変える ②組織を変える ③環境を変える、を3本の柱として、女性研究者の短期留学助成や多様なワークショップ、セミナー開催などを行っています。

しかし、女性研究者が国際化していくためには、大学の中だけで支援をしているのではなく、より広く地域と一体となった支援が不可欠であること、すなわち大学の環境を変えるだけでなく、④社会を変える、取り組みが必要だと感じるようになりました。

そこで富山大学では、地域の関係機関と連携し、ライフイベント後の女性が再び活躍できるよう、それぞれのニーズに合わせてサポートしていく事業を企画しました。文部科学省への申請を経て実施することになったのが、本事業「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」です。

この取り組みでは、大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク会議）、富山県、富山県女性財団、ハローワーク富山の協力を得て実行委員会を組織し、多様な相談にワンストップで対応できるコーディネーターデスクの設置や、キャリアコースと教養コースとで構成したキャリアUP支援講座を開催しました。ニーズの高いコミュニケーションスキルをテーマにした講座、託児サポートや土日開講など受講しやすい工夫を行った結果、幼児を持つ多数の方々の参加を得ることができました。

総括として行ったミニフォーラムでは受講生からの発表もあり、講座によって再就職に向けた自信が得られたなど、それぞれに役立っていることが確認できました。加えて、県内企業における女性活躍事例として、女性社員だけで行った商品開発が成果を上げたことが紹介されました。労働力不足だからではなく、女性の能力が必要だからという認識が定着していくことが重要ですが、そのためには子育てを経験した女性が働ける環境整備が不可欠です。

社会を変えていくためには、継続的で広がりのある活動が求められます。本事業にご参加いただいた受講生の皆様、関係機関各位に感謝すると共に、今後の取り組みに対しましても、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶

国立大学法人富山大学 学長補佐
男女共同参画推進室長 宮内 伸子



本プログラム「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」は、育休中、あるいは出産等で離職中の女性を主な対象とした支援事業で、富山県内の各機関で実施されている各種の学び直し講座の情報を集約し、ワンストップで、復職ないし再就職を目指す女性一人一人の要望に添う学びを組立てて、提供しようというものです。

このようなオーダーメイド型の支援を可能にするために、本学が中心となって県内各機関と連携し実行委員会を立ち上げました。メンバーは富山大学のほか、富山県、ハローワーク富山、富山県商工会議所連合会、富山県女性財団、北陸銀行、富山第一銀行です。また、大学コンソーシアム富山（県内7高等教育機関）の後援も得、支援講座の開催にあたり4つの高等教育機関から講師を派遣していただきました。

地域貢献の道を選んだ富山大学として、本プログラムを通して深められた県内各機関との関係を今後も大切にしながら活動に繋がれば、それもまた本プログラムの成果の一つに数えられると思います。

令和元年度は、文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」に平成30年度に引き続いての採択でしたので、平成30年度の経験を踏まえさまざまな面でブラッシュアップを図りました。平成30年度の成果と比較しつつ令和元年度の報告書をまとめました。ご覧いただければ幸いです。

富山県の取組み

富山県総合政策局 少子化対策・県民活躍課
 女性活躍・働き方改革推進班長 寺井宏友

富山県では、結婚や出産により離職した女性の再就職に対する意識づけや意欲の向上、また育休取得中（今後、育休取得予定）の女性の職場復帰への不安の解消やスキルアップを図るため、女性のキャリアデザイン応援事業「キャリアブランク解消講座」を実施した。前期（6月～9月）に「女性の再就職パワーアップ応援講座」（全3回）、後期（11月～12月）に「産休・育休からの職場復帰準備講座」（全3回）を実施した。

○女性のキャリアデザイン応援事業「キャリアブランク解消講座」

（前期）女性の再就職パワーアップ応援講座

開催日時	内容	講師	受講者数
6月12日 9:30～12:00	第1回 コミュニケーションには「コツ」がある ～職場でのコミュニケーション術～	キャリアコーチ 板文氏	31名
7月10日 9:30～12:00	第2回 私らしく働くために ～就職活動に役立つ情報を知っておこう、自分自身の適性、アピールポイントを探ろう～	有限会社Cマインド 代表取締役 長谷川 能扶子氏	19名
7月24日 9:30～12:00	第3回 面接は第一印象から ～あなたの魅力を引き出す面接ファクションのポイント～	エムカラーデザイン株式会社 代表取締役 河波 昌美氏	16名
9月4日 全日	個別のキャリアコンサルティング	長谷川 能扶子氏 板文氏	14名

（後期）産休・育休からの職場復帰準備講座

開催日時	内容	講師	受講者数
11月2日 9:30～12:00	第1回 「産休・育休明けの不安を解消！」～ママとパパが仕事と育児を楽しむコツ～	産休後コンサルタント® 山口 理栄氏	22名
11月28日 9:30～12:00	第2回 「職場で役立つコミュニケーション術」 ～私の想いをスムーズに伝えよう～	株式会社キャリア・ママ 代表取締役（CEO） 堤 香苗氏	16名
12月10日 9:30～12:00	第3回 「復職後の両立戦略を立てよう！」～それぞれの連携型子育て「チームわが家」作り～	ワンダライフLLP 代表 林田 香織氏	14名

前期の講座では、第1回は「コミュニケーションには「コツ」がある～職場でのコミュニケーション術～」として、キャリアコーチ 板文氏を講師に招き、コミュニケーションの必要性を考えたいうえで、自分の考え方や行動のクセを探り、円滑なコミュニケーションを図る方法を学んだ。

第2回「私らしく働くために～就職活動に役立つ情報を知っておこう、自分自身の適性、アピールポイントを探ろう～」では、有限会社Cマインド代表取締役 長谷川 能扶子氏を講師とし、自分自身の適性や自分に合った仕事は何かをグループワークを通し考えた。

第3回「面接は第一印象から～あなたの魅力を引き出す面接ファッションのポイント～」では、エムカラーデザイン株式会社代表取締役 河波 昌美氏を講師とし、希望する業種のイメージに合った印象で面接を受けるために、パーソナルカラーに基づき服装やメイクのポイントを学んだ。

3回の講座実施後には、板氏と長谷川氏を講師とし、受講者それぞれが抱えている再就職への不安や疑問に対してアドバイスするための個別のキャリアコンサルティングを実施し、14人の受講者が参加した。

また、後期講座では、第1回に「産休・育休明けの不安を解消！」～ママとパパが仕事と育児を楽しむコツ～」として育休後コンサルタント®の山口理栄氏を講師に招いた。夫婦での受講を呼びかけたところ、受講者22名のうち20名(10組)が夫婦での参加となった。職場復帰の際の上司との面談のポイントや夫婦での育児分担(保育園の送迎、保育園からの呼び出し、子どもの病気対応など)のポイントを学んだ後、仕事がある日のタイムテーブルを作成し、職場復帰後の夫婦での役割分担について具体的に考えた。

第2回「職場で役立つコミュニケーション術」～私の想いをスムーズに伝えよう～」では、株式会社キャリア・ママ代表取締役(CEO)の堤香苗氏を講師とし、職場でのコミュニケーションの取り方に重点を置き、職場復帰後に予想される具体的な事例のトラブルシューティングをグループで話し合い、自分の想いを伝える方法を学んだ。

第3回「復職後の両立戦略を立てよう！」～それぞれの連携型子育て「チームわが家」作り～」では、ワンダライフLLP代表 林田 香織氏を講師に招いた。第1回目と同様に夫婦での受講を呼びかけたところ、受講者14名のうち4名(2組)が夫婦で参加した。ワンオペ育児ではなく「チームわが家」として育児に取り組むメリットや実践するコツを学び、職場復帰後の両立戦略を立てた。

令和2年度も同様に、再就職を希望する女性や産休・育休を取得中(今後取得予定)の女性を対象とした講座を実施し、働くことへの意欲の向上やキャリアブランクによる不安の解消を図り、女性の就業支援に取り組んでいくこととしている。



I 学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

1. プログラム概要

文部科学省令和元年度 「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

事業の趣旨

男女がともに仕事と家庭、地域における活動に参画し、活躍できるような社会の実現を目指すためには、個人の可能性を引き出すための学びが必要不可欠である。このことから、女性が子育てをしながら学びやすい環境整備と学びから社会参画へつなげるキャリア形成支援は、一体的に推進していくことが必要である。しかしながら、学びの場として重要な教育機関である大学等においては、保育所の整備は十分に進んでおらず、また、女性や企業のニーズに合ったプログラムや学びから社会参画につながる仕組みも十分ではないという状況がある。

このため、女性がリカレント教育を活用して復職・再就職しやすい環境整備の在り方や、大学、地方公共団体、男女共同参画センター等の関係機関が連携し、地域の中で女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりに関するモデル構築や普及啓発のための研究協議会を開催する。

富山大学「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」プログラム

富山大学では、「学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援」を計画し、富山県の女性の就労状況や学び直しの需要を把握し、県内の独立した機関で個々に行われている職業訓練やリカレント教育などの教育機会を有機的につなぎ、受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供することで、休職期間から始める学び直しの新しいモデルを構築し、実証的に行うこととした。文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」に昨年度に引き続いての採択であるので、昨年度の実績と経験を踏まえさまざまな面でブラッシュアップを図り実施した。

富山大学に「学びのコーディネーターデスク」を開設し、ワンストップで学びのプラン作成から保育先情報までを案内することで、各団体のセミナー等を連動させ、受講者の求める学びに応える仕組みを構築する。実施体制として、富山大学が代表機関となり、富山県、富山県女性財団、ハローワーク富山、大学コンソーシアム富山（産学官金ネットワーク）、北陸銀行、富山第一銀行からなる実行委員会が連携し、「富山型地域連携モデル オーダーメイド型学び・キャリア形成支援のプラットフォーム」を確立することで、学び直しを通じた女性の社会参画を支援する。

本プログラムの実施により、事業に関わるすべての機関やそれらの実施する講座等の受講生それぞれにとって将来の選択肢が広がるとともに、富山県の現状と課題を明らかにすることにより今後の新たなキャリア形成支援を可能とする。

ウェブサイト

平成 30 年 6 月に本学が「学び直しを通じたキャリア形成支援」に採択されたことを受け、平成 30 年 9 月 10 日にウェブサイトを開設し 2 年目となった。

平成 30 年度 URL : <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/news/manabi-ch30.html>

令和 元 年度 URL : <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/news/manabi-cr1.html>

本事業の「学びのコーディネーターデスク」開設について、ウェブサイトサイトを通じて広く周知し、電話・メールでの問い合わせや相談を受け付けるとともに、支援講座開催案内や活動報告などの情報提供を行った。



2. 申請書・計画書

業 務 計 画 書

1. 業務題名

「学び直しを通じたオーダーマイド型キャリア形成支援」

2. 業務の委託期間

令和元年7月29日から令和2年3月15日まで

3. 実施組織の構成

①組織の全体構成員

氏 名	所 属 ・ 役 職 等	備考欄
武 山 良 三	富山大学・理事 (男女共同参画推進担当：大学コンソーシアム富山担当)	
宮 内 伸 子	富山大学・学長補佐 (男女共同参画推進室長：産学官金ネットワーク会議担当)	
大 路 貴 久	富山大学・教授 (男女共同参画推進副室長)	
佐 藤 杏 子	富山大学・男女共同参画推進室コーディネーター	
新 庄 幹 夫	富山県商工会議所連合会常任理事・事務局長	※
齋 藤 幸 江	(公財) 富山県女性財団 富山県民共生センター サンフォルテ館長	※
山 下 章 子	富山県総合政策局少子化対策・県民活躍課課長	※
林 信 彦	富山第一銀行地域部副営業推進役	※
森 永 達 也	富山公共職業安定所長	※
荒 谷 昌 孝	北陸銀行地域創生部副部長	※

※ 連携機関は機関名順で表記。

②事業推進担当者

氏 名	所 属 ・ 役 職 等	備考欄
宮 内 伸 子	富山大学・学長補佐 (男女共同参画推進室長)	

4. 取組内容の趣旨・目的

【背景】

富山県は高齢化が進み女性の労働が期待されている。3世代同居による家族支援など就業環境の整備は進み女性の勤続年数は長い。一方で、管理職比率は低い特徴を持つ。

富山県少子化対策・県民活躍課による調査結果「女性の活躍推進にかかる県の状況及び取組みについて」を参考に、明らかになっていることを次に挙げる。

- ① 富山県の人口は、2015年と比較すると2045年には、高齢者人口は3千人増加、生産年齢人口（15～64歳）は20万人減少し、高齢者の割合は30.6%から40.3%へと10ポイントも上昇する。また総人口では25万人の減少となり、2015年の総人口の76.7%まで減少すると推計される。高齢化が全国平均より約10年早く進む富山県の経済が持続的に発展するためには、女性や高齢者を積極的に活用し、労働力を確保することは喫緊の課題である。
- ② 15～64歳の女性のうち、約4分の3は就業している。女性は、出産、子育てを機に就業を中断するケースが多いことから、年齢階級別労働力率は30歳代を底としたM字カーブを描く。富山県のM字カーブの底は全国平均より浅い。
- ③ 出産後も就業を継続する女性が増加傾向にあるが、富山県では、第1子出産を機に常勤・パート合わせて約5割の女性が就業を辞めている。
- ④ 富山県では、3世代同居世帯の割合が高く（H27:13.2%、全国5位）、女性が育児や家事を家族に任せられた

ことが要因となり女性の有業率が高い。雇用者数は近年減少傾向を示していたが、H29年は男女とも増加に転じた。しかし、雇用者に占める女性の割合はほぼ変わらず、さらに富山県は全国平均よりも高い。また正社員の割合も全国平均に比べてかなり高い。(H29 全国 3 位)

- ⑤ 富山県の女性の平均勤続年数は 10.8 年 (H29 全国 6 位) と長く、共働き率も高い。(H29:55.9%, 全国 4 位)
- ⑥ 民間事業所を含めた管理的職業従事者に占める女性の割合は、全国平均と比べ低い。(H27 全国 44 位)
- ⑦ 職場における育児支援制度は整備されてきており、育児休業取得率は全国を上回っている。

富山県の「一般雇用主行動計画」の届出率も高く、女性の活躍や次世代育成に対する関心と意識の高さがうかがわれる。

【実態調査】

平成 29 年度富山県女性活躍推進調査によると、いったん離職した女性も育児休業取得中の女性も潜在的に働く意欲があり、実際に中断後も働いている女性が多い。また、9 割以上の従業員が、職場での女性の活躍を推進するべきだと回答している。女性活躍推進のための行政への要望には、女性側からは、子育てインフラの充実 (38.2%) を抑えて、結婚・出産を機に退職した女性の再就職を支援するセミナーの充実 (39.3%) が挙げられている。また、平成 30 年度の本学の本事業事後アンケートからは、社会生活をスムーズにするスキル関連の講座の要望が多い。

【学び直しの受け皿】

これら学び直しの受け皿として、以下のように、県内の高等教育機関や自治体により、すでにいくつかの仕組みが稼働している。(別紙参照)

高等教育機関:富山大学を例にとると、本事業支援講座 8、オープンクラスが約 360、大学院のハイグレード・オープン・クラスが 60 以上、また、富山大学サテライト講座も一般市民向けに公開されている。大学コンソーシアム富山では、大学連携講演として、「知の宝庫を開く」を開催している。

自治体:出産・育児のために離職した女性を対象にした「女性のパワーアップ応援塾」が、富山県により平成 25 年以來 6 年間継続して開講され、今年度も開催予定である。また、富山県女性財団では、就業支援技術講習として、女性の再就職サポート講座として、女性の再就職に有利なパソコン資格取得、実践的スキルの習得を支援している。また、ハローワークを窓口、離職者や新たな職業に就こうとする者を対象に無料で職業訓練コースが開講されている。また、県民カレッジ主催講座も通年で開催されている。

【取組内容の趣旨・目的】

このように独立した各機関で職業訓練やリカレント教育が行われていたが、相互のつながりは無かった。このことから、昨年度本事業に応募し、職業訓練、リカレント教育はじめ教育機会を有機的につなぎ、受講者のニーズに沿った段階的な学びのコースを提供することで、休職期間から始める学び直しの新しいモデルを構築し、実証的に行う試みに手をつけた。今年度は昨年度の事業で得られた結果を活用し、いったん離職した女性、休職中の女性、さらに就業中の女性に対して、それぞれの希望に沿った学びの内容や受講期間を設定することで無理なく学ぶことができるさらなる仕組みを構築する。一連の学び直しのプログラムを受講した女性は、教養を高めることに加え、専門性の高い知識を習得すること、あるいはキャリアアップに必須となる管理者や経営者の視点を学ぶこと等ができる。技能・知識・意識を一体的に高めるプログラムの構築を目指すことであらゆる立場の受講者が学びのプログラムを通して、自信と意欲を持つ職業人として再出発・ステップアップできるようにする。

【取組概要】

平成 30 年度と同様に、大学が中心となり、大学コンソーシアム富山 (産学官金ネットワーク会議)、富山県、富山県女性財団、ハローワークが連携し実行委員会を立ち上げ、富山型地域連携モデルを構築し、学び・キャリア形成支援のプラットフォームとする。実行委員会は、計 3 回開催し、各機関の有する情報を共有し、連携のあり方を確認して協力体制を整える。さらに、本事業の集大成として期間の終盤にミニフォーラムを実施する。今年度のミニフォーラムでは、富山県に今年度新設された「女性就業支援センター」(マザーズジョブとやま)の在り方や成果についての報告も加える。各機関が学び・キャリア形成支援の成果を報告し、意見交換を行い、富山県特有の今後解決すべき課題について情報を共有する場とする。

取組みは具体的には、ハローワークを窓口として実施する離職者の学び直し (職業訓練)、富山県が主催する「女性のパワーアップ応援講座」(ハローワークの求職活動実績にもなる)、富山県女性財団「再就職サポート講座」、大学等高等教育機関が開講するオープンクラス (教養教育・専門教育・高度専門教育)、大学コンソーシアム富山・産学官金ネットワーク会議メンバーによる大学連携講演や産業界のリーダー等から直接話を聞くことができる講演会等の学習機会、これらすべてを一体的に連動させることにより、受講者の求める学びに応え得る仕組みを構築し需要等を実証するというものである。

富山大学が取りまとめ機関となり、学びのコーディネーターデスクを開設し、ワンストップで学びのプラン作成から保育先情報提供までを案内する。コーディネーターは相談者一人一人に寄り添う支援を行い、キャリアコンサルタントの役割も担う。対面の相談のほか、メールによる相談も行い、女性のスキルアップに加え、働く女性が置かれている状況を知った上で、男女共同参画の視点で、これからの人生設計についてアドバイスする。このことにより、学びの目的や学びにかけられる時間が一人一人さまざまな育児中の女性に対しても、最適な学びの機会を提供することが可能である。また、参加登録をした女性が、その後再就職へと向かったかどうかのフォローを行う。

講座実施にかかる広報に関しては、前年度効果があった、保育園・こども園・幼稚園の保護者全員へのリーフレットの配布や、保健福祉センター及び県内図書館を中心にさらに範囲を広げ、育休・産休中者の受診が見込まれる、富山市内の小児科及び産科婦人科へもリーフレットを配布し、県内主要機関でポスターを掲示する。

富山県が主催する「女性のパワーアップ応援講座」や富山県女性財団による「パソコン講座」は、「自分の適正を知る」「社会人としての基礎力を身につける」など、再就職のため基本的な知識やスキルの習得を目指している。

それに対し、本学主催の「連携オーダーメイド型コース」は、①キャリア支援コース（5回コース）では、メンタル的な方面から、自己理解、コミュニケーションコーチング、プレゼンテーション能力開発を目指し、②教養コース（5回コース）では、経済学や仕事術などの一般教養の講義を行う。受講者は自分なりのビジョンを構築し、充実した職業人生活に一步踏み出すことができるように、意識啓発とスキルアップを目指したセミナー内容である。平成30年度の本事業実施の結果、パート・アルバイト等短時間勤務をしている女性も参加しやすくなるのが課題となったため、今年度は講座を平日以外でも実施する。

また、大学から地域社会へ出向くサービス、大学の研究者と実務家の交流、集いの場の実現等、事業に広がりを持たせられるようさらなる検討も併せて行う。

5. 実施により得られることが見込まれる成果・効果

(成果・効果)

《受講女性》

- (1) 学び直しの機会や、選択肢を広げ新たなキャリア形成が可能となる。これは、職場を離れている時間だからこそできるライフキャリアデザインとして位置付けができる。
- (2) 育児のために家庭にこもりがちな女性にとって、直接社会と繋がる機会となる。
- (3) 段階的な社会参加ができる機会となる。
- (4) 学び直しにより、自己実現につながりキャリアアップの機会となる。
- (5) タイムマネジメントを学ぶ機会となる。
- (6) ストレス対応を学ぶ機会とする。
- (7) 再就職への具体的な支援の第一歩となる

《企業》

- (1) 段階的な社会参加を経た女性が、スムーズに職場復帰を果たす。
- (2) 経験値の高い社員の復帰は、人材育成にかけた手間・暇・コストを活かすことになる。
- (3) ライフイベントを通じて新たな視点を得た女性は、企業にとって働き方改革の重要な情報源となる。

《大学コンソーシアム富山》

○産官学金ネットワーク会議

- (1) 講師を務める産官学金ネットワーク会議委員にとっては、企業側の希望を伝えることができる機会となる。
- (2) 女性の実情を知ることによってビジネスモデル構築の機会となる。
- (3) 産業界全体では、労働力人口の減少が必至であるが、経験と意欲に満ちた女性の育成・活用という大きな課題を産業構造全体で見直す機会となる。

○7高等教育機関

- (1) 開講しているオープンクラスの利用実績を上げることができる。
- (2) 一般市民、特に青壮年層の受講者を増やすことで、18歳人口減少が進む高等教育機関にとって、新たなビジネスモデルの先駆けとなる。

《自治体》

- (1) 富山県民男女共同参画計画（第4次）の基本目標Ⅱに掲げている「あらゆる分野における女性の活躍」に資する。
- (2) 各種の取り組みを有機的に繋ぐことで、リカレント教育の受講者が増加する。
- (3) 富山県が中心となって目指している働き方改革を推進する。

以上、本プログラムの実施に携わる全ての機関や受講者にとって効果が見込まれる。さらに、すでにある支援制度の活用により比較的短期間に実証事業の効果が期待できる。

本プログラムは、出産・育児中の女性の学び直しを中心にしたキャリア形成支援であるとともに、高齢者の活用も視野に入れた、学び直しの仕組みとする。1億総活躍化が求められる現在、他の都道府県より10年程度高齢化が進んでいる富山県における「高齢者の学び直し」は他県に先行するプログラムとして応用できる。

特に実施組織の中核となる大学コンソーシアム富山の7高等教育機関にとっては、一般市民向けに開講しているオープンクラスはいまだ認知度が低く利用実績も低い。一般市民の受講者にとっては、ハードルが高いことが推察できる。そこで青壮年層の一般市民、特に女性の受講者を増やすことは、18歳人口減少の一途を迎え高齢化が進む富山県の高等教育機関にとっては、新たなビジネスモデルとして早急に取り組むべき課題である。

(目標、測定する指標)

- (1) 本学主催プログラム（連携オーダーメイド型コース）への参加登録者数を把握する。
 昨年度実績：平均25人（1講座当たり）、のべ200人（全8講座合計）
 今年度目標：平均30人（1講座当たり）、のべ300人（全10講座合計）
- (2) 連携機関が実施する、以下について利用実績を把握する。
 富山県：「女性の再就職パワーアップ応援講座」参加者数
 富山県女性財団：「女性の再就職サポート講座」参加者数
 大学コンソーシアム富山：大学連携講演「知の宝庫を開く」参加者数
 富山大学：サテライト講座、公開講座、オープンクラス、ハイグレード・オープン・クラスの参加者数
- (3) その他、各種プログラムの利用状況を取りまとめ、利用実績を分析する。
- (4) 保育支援利用者数を把握する。
- (5) メール相談も含めた健康相談や就職相談の件数の把握に加えて、アンケートなどにより、利用者の満足度や意識の変化等についても把握する。
- (6) 受講者のアンケートを取りまとめ、本プログラムの評価を行なう。
- (7) 参加登録者のうち、再就職となった人数をアンケートから把握する。
 昨年度実績：11名/50名（アンケート回答者）＝22%
 今年度目標：30%（50名なら15名）

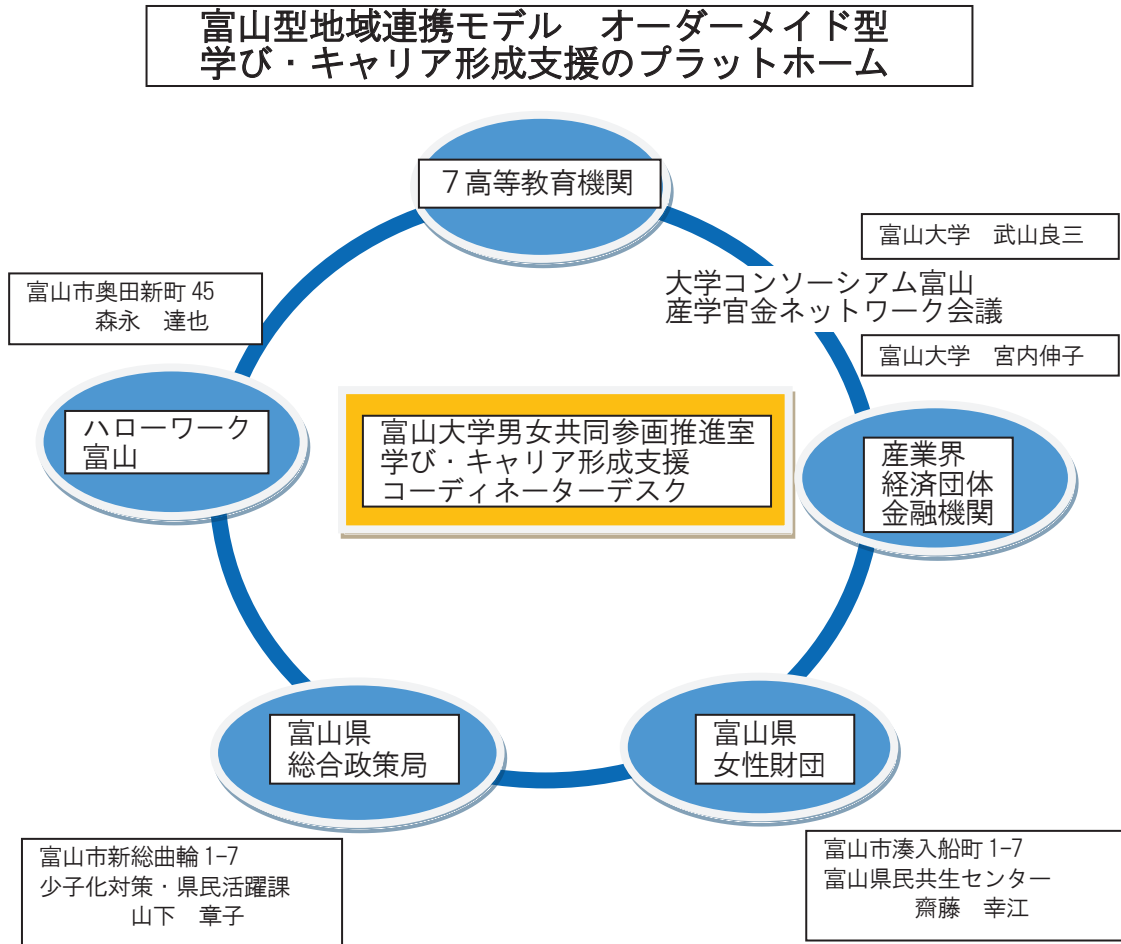
6. 具体的実施内容、実施方法等

富山大学が取りまとめ機関となり、男女共同参画推進室に、「学び・キャリア形成支援のコーディネーターデスク」を開設し、ワンストップで学びのプラン作成から保育先情報提供までを案内することにより、学びの目的や学びにかけられる時間が異なる育児中の女性に最適な学びの機会を提供する。「学び・キャリア形成支援コーディネーター」が、各々の女性のキャリア形成にあった学びのコースや講座を紹介し、保育や受講の支援を行う。受講者は、その後の職場復帰を含めたアンケート調査や先輩としての経験談の紹介に協力いただく。

- (1) 富山大学が中心となり、オーダーメイド型コースとして、キャリア支援コース、教養コース各5回を開設し、大学コンソーシアム富山の7高等教育機関、産業界、金融業界の委員による講座を開催する。
 - ① キャリア支援コース（5回コース）
 自己理解、コミュニケーションコーチング、プレゼンテーション能力開発コース
 - ② 教養コース（5回コース）仕事術などの一般教養コース
 受講者は自分なりのビジョンを構築し、充実した職業人生活に一步踏み出すことができる。
- (2) 富山県が主催する「女性のパワーアップ講座」
 - [前期] 6月 再就職に必要な知識や実践的なスキルを学ぶ。セミナー3回
 - [後期] 10～11月 同上の内容
- (3) 富山県民共生センター〔富山県女性財団〕再就職サポート講座
 女性の再就職に有利なパソコン資格取得、実践的スキルの習得、自立に向けた情報提供等の支援、パソコン入門講座（前期、後期3回）
- (4) 富山大学公開講座、サテライト講座、オープンクラス、ハイグレード・オープン・クラスの受講
- (5) 大学コンソーシアム富山連携講演「知の宝庫を開く」の受講
- (6) ハローワーク職業訓練の受講
- (7) 県民カレッジ主催講座・自遊塾の受講

7. 実施体制（連携先や再委託先まで含めた実施体制について図示すること。）

富山大学が代表機関となり、富山県総合政策局、ハローワーク富山、並びに大学コンソーシアム富山・産学官金ネットワーク会議からなる実施体制を確立する。



8. 事業実施スケジュール（行程がわかるように適宜様式を編集して記載すること。）

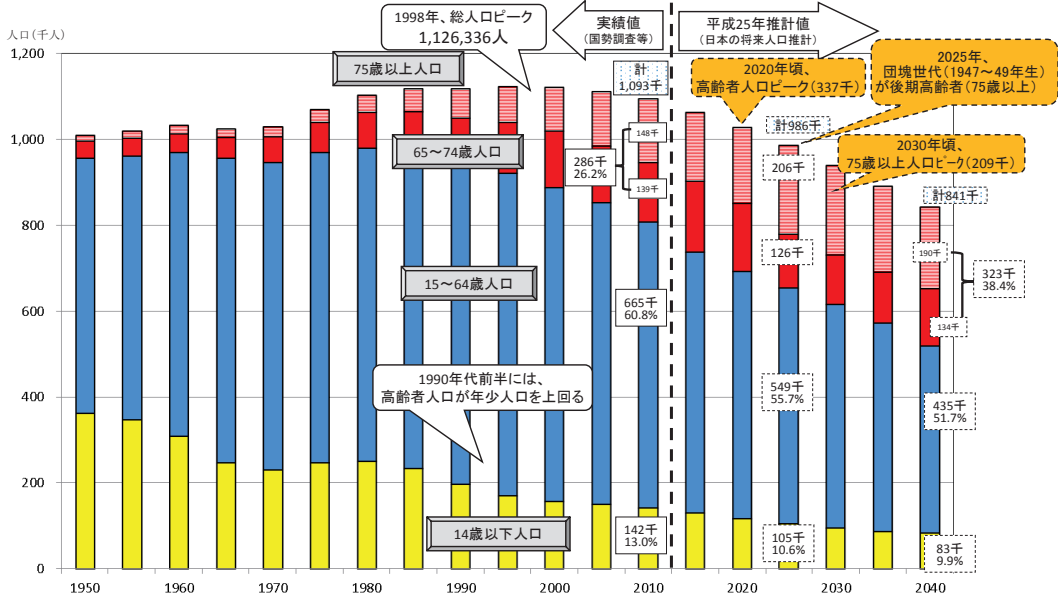
業務項目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実行委員会	第1回			第2回		第3回(連携会議)					
	ミニフォーラム										
受講者登録	開始						アンケート調査 集計				
連携オーダーメイド型コース	キャリアコース 5回					教養コース 5回					
富山県キャリアデザイン応援事業						キャリアプランク 解消講座(後期)					
富山県女性財団 再就職支援講座	パソコン初心者向け講座, パソコン活用										
富山大学 サテライト講座					第4回	～			第9回		
大学コンソーシアム 富山 “知の宝庫”					第1, 2, 3回						
富山大学公開講座	通年										
ハローワーク 知識習得コース 育児との両立支援コース	通年										
県民カレッジ	通年										

資料・別紙

資料

富山県の人口減少(少子高齢化)の状況

- ポイント① 本県の人口は、2010年と比較すると2040年には、高齢者人口は37千人(13%)増加し、生産年齢人口(15～64歳)は230千人(35%)減少。全体として252千人(23%)減少すると予測されている。
- ポイント② 本県経済の持続的発展のためには、女性、高齢者等を積極的に活用し、労働力を確保する必要がある。



資料:実績値:国立社会保障・人口問題研究所公表「人口統計資料集(2013年版)」より抜粋。総務省統計局「国勢調査報告」による。
 推計値:国立社会保障・人口問題研究所H25.3公表「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」より抜粋。

1

労働時間の状況

- ポイント① 本県の労働者1人当たりの年間総実労働時間は、全国平均よりも長くなっている。1週間の就業時間を年代別に見ると、男性は20～40代で週60時間以上働いている人が多い。女性は20代が多い。
- ポイント② 本県の年次有給休暇の取得率は伸びている(全国平均を上回っている)ものの、5割程度である。(国の目標:70%)

労働者1人平均年間総実労働時間の推移(全国・富山県)



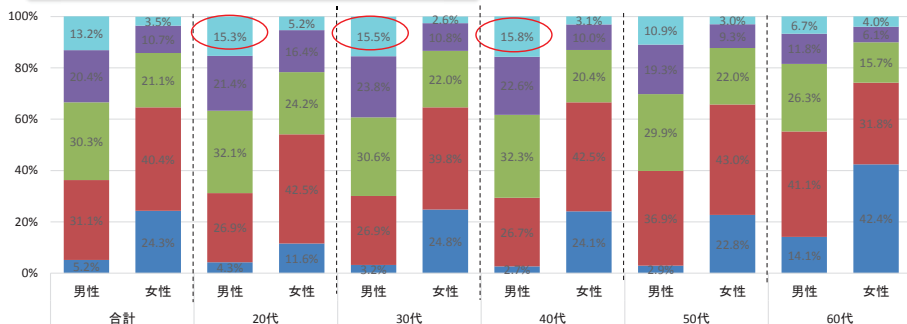
主務省「毎月勤労統計調査」
 対象は常用労働者事業所規模5人以上

年次有給休暇の取得率の推移(全国・富山県)

年度	富山県			全国		
	付与日数	取得日数	取得率	付与日数	取得日数	取得率
29	18.0	9.0	50.0	18.2	9.0	49.4
24	17.4	8.1	46.6	18.3	9.0	49.3
19	17.6	8.0	45.3	17.7	8.3	46.6

資料:(全国)厚生労働省「就労条件総合調査」
 (富山県)「賃金等労働条件実態調査」

年齢階級別1週間の就業時間(富山県)



資料:総務省「平成24年就業構造基本調査」

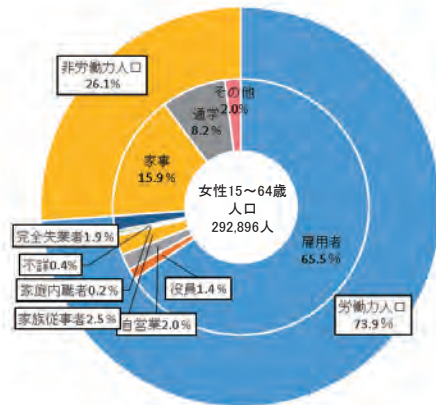
2

I
 学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

女性の労働力の状況

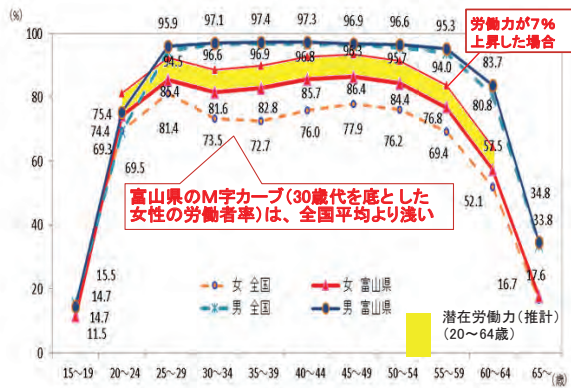
- ポイント① 15～64歳の女性のうち、約4分の3は就業している状態にある。
- ポイント② 女性は、出産、子育てを機に就業を中断する機会が多いことから、年齢階級別労働力率は30歳代を底としたM字カーブを描く。富山県のM字カーブの底は全国平均より浅い。

女性の労働力状態(富山県)



資料：総務省「H27国勢調査」

年齢階級別労働力率(全国・富山県)



資料：総務省「平成27年国勢調査」

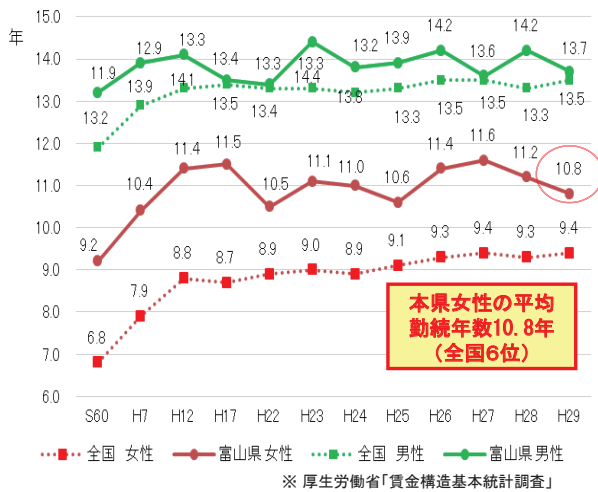
- 女性の労働力率(15～64歳) 富山県:73.9%(全国3位) 全国:67.3%(H27国勢調査)
- 女性の潜在労働力(推計) 富山県:約1万9千人(7%で計算)
- ※国の2020年の女性の就業率の目標値が7%増加(2014年度比)

3

女性の就業状況①

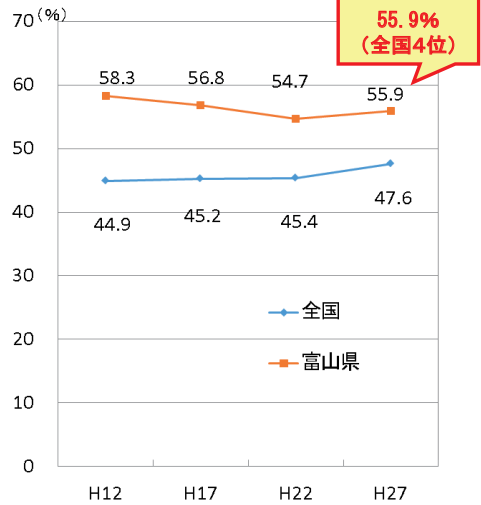
- ポイント① 本県の女性の平均勤続年数は全国平均と比べて長く、共働き率も高い。三世帯同居世帯の割合が高く(H27、13.2%、全国5位)、女性が育児や家事を家族に任せられたことも要因の一つ。

平均勤続年数の推移(富山県・全国)



※ 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

共働き率(富山県・全国)



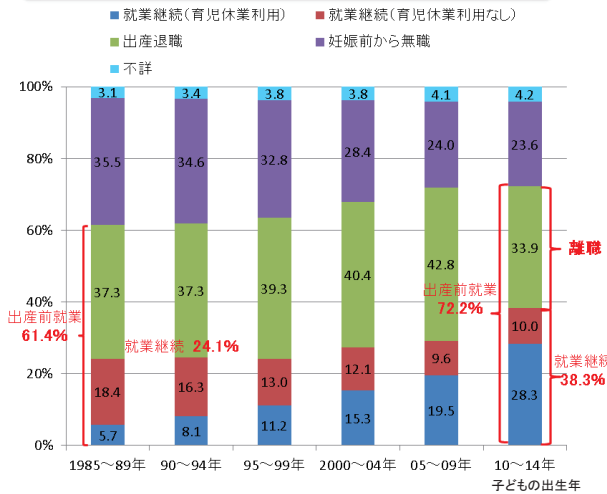
※ 総務省「国勢調査」

4

女性の就業状況②

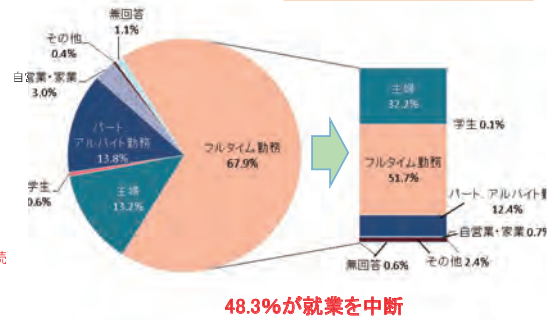
- ポイント① 出産後も就業を継続する女性が増加傾向にあるが、出産を機に約5割が就業を辞めている。
- ポイント② 本県では、第1子出産を機に約5割の女性が就業を中断(離職等)している。

第1子出生別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化(全国)



出産後の就業継続の有無(富山県)

出産1年前の就業状況
 フルタイム勤務者の
 第1子出産1年後の就業状況

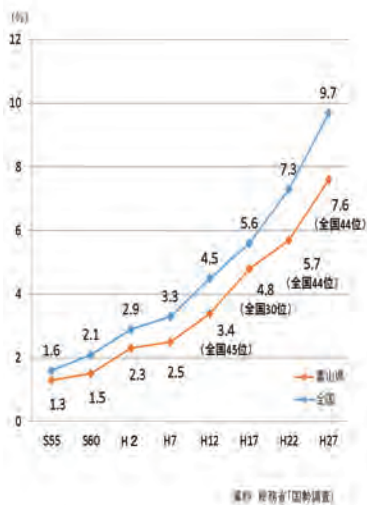


資料: 富山県「平成29年 子育て支援サービスに関する調査」
 (n=773 県内の未就学児を持つ保護者)

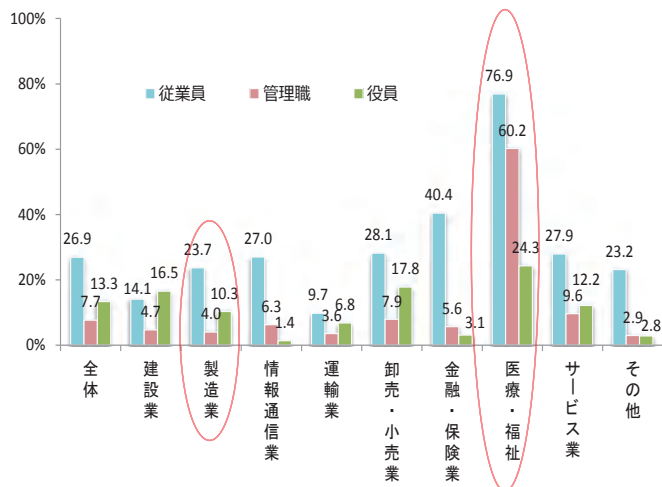
5

女性の管理職登用の状況

民間事業所を含めた管理的職業従事者に占める女性の割合(富山県・全国)



産業別の従業員・管理職の女性の割合(富山県)



※富山県「女性活躍推進調査」(H29)
 調査対象 県内企業1,000社(回収数508社、回収率50.8%)

6

仕事と子育ての両立支援制度の状況

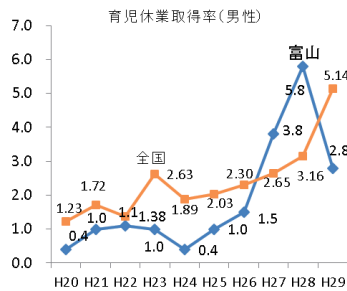
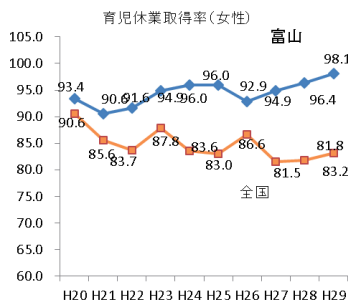
- ポイント① 職場における育児支援制度は整備されてきている。
- ポイント② 本県の育児休業の取得率は全国を上回っている。
- ポイント③ 本県男性の育児休業の取得率は近年、全国平均を上回っているものの依然として女性に比べると低い。

育児支援制度の状況(富山県)

	育児休業制度			育児休業以外の短時間勤務制度を実施							実施していない
	就業規則に規定	取得率		計	短時間勤務	所定外労働の免除	フレックスタイム	時差出勤	事業所内保育	その他	
		男性	女性								
平成29年	90.7	2.8	98.1	84.5	(96.2)	(81.9)	(7.2)	(13.5)	(1.1)	(3.6)	15.5
平成24年	88.3	0.4	96.0	83.0	(93.5)	(79.6)	(6.7)	(13.7)	(0.5)	(3.6)	17.0
平成19年	81.8	0.4	90.9	76.3	(83.6)	(40.2)	(16.2)	-	(0.4)	(7.2)	23.7

資料: 富山県「賃金等労働条件実態調査」

育児休業の取得率(全国・富山県)



資料(全国)厚生労働省「女性雇用管理基本調査」、「雇用均等基本調査」
 (富山県)「賃金労働条件実態調査」

7

一般事業主行動計画の取組状況

法律	次世代育成支援対策推進法	女性活躍推進法 (女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)
施行	H15. 7. 16施行	H27. 9. 4施行
対象企業	H21. 4～ 従業員301人以上、300人以下は努力義務 H23. 4～ 従業員101人以上、100人以下は努力義務 ★富山県独自の対応 子育て支援・少子化対策条例による義務化 H23. 4～ : 51～100人 + H29. 4～ : 30～50人	H28. 4～ 従業員301人以上、300人以下は努力義務
計画策定	◆取組内容(内容は任意) ・法を上回る育児休業制度、時間外労働の削減、短時間勤務・フレックスタイム制度の導入、事業所内保育施設の設置 等 ◆目標設定(いくつでも可。可能な限り数値目標) ◆計画の策定・公表	◆把握・分析事項【必須項目】 ・女性採用比率、勤続年数男女比、労働時間の状況、女性管理職比率 ◆課題を踏まえた数値目標設定(1つ以上) ◆取組内容(数値目標達成のための取組は必須) ◆計画の策定・公表
認定	◆認定マーク 「くるみん」「プラチナくるみん」 ◆認定数 47企業 1企業(㈱北陸銀行)	◆認定マーク 「えるぼし」(一ツ星～三ツ星) ◆認定数 6企業(三ツ星: アルビス㈱、北陸電力㈱、㈱インテック、㈱ケーブ ルテレビ 富山、協和ファーマケル㈱) 二ツ星: ㈱北陸銀行
届出状況(H30. 3末)	法対象 : 301人以上企業 100.0% 101～300人企業 99.1% 条例対象 : 51～100人企業 99.3% 30～50人企業 79.2%	法対象 : 301人以上企業 100.0% 法対象外 : 101～300人企業 3.5% 51～100人企業 1.9% 30～50人企業 0.5%

12

別紙

県内講座

2019年度 女性のキャリアデザイン広域事業「キャリアアップ推進講座」

女性の再就職 パワーアップ 応援講座

第1回～第3回を連続受講された場合はハローワークの求職活動実績になります

6/12(水) 9:30～12:00
コミュニケーションには「コツ」がある～職種でのコミュニケーション術～
キャリアコーチ 板文氏

7/10(水) 9:30～12:00
私らしく働くために～就業活動に役立つ情報を知ろう。自分自身の強み、アピールポイントを知らそう～
長谷川 龍枝子氏

7/24(水) 9:30～12:00
面接は第一印象から～あなたの魅力を引き出す～
河渡 昌美氏

9/4(水) 全日
個別のキャリアコンサルティング
長谷川 龍枝子氏 / 板文氏

富山県民共生センター「サソフォルテ」
再就職をめぐり女性 西部30名
5か月～就学前まで 定員あり
先着順 (定員に達するまで申し込みを受け付けます)

主催 富山県 愛読者 / (公財) 富山県女性財団

女性のキャリアデザイン広域事業「キャリアアップ推進講座」

産休・育休からの 職場復帰準備講座

仕事と育児ってどうやって両立したらいいの？
育休を取っても大丈夫？
育休中の人、これから取得予定の人、
それだけが不安を解消し、スムーズに職場復帰できるポイントを専門家から伝授していただきます。

希望する回のみ参加することができます

令和元年 **11月2日(土) 9:30～12:00**
「産休・育休明けの不安を解消！」
～ママとパパの不安を解消しよう～
山口 理栄氏 (育休後コンサルタント)

11月28日(木) 9:30～12:00
「職場で役立つコミュニケーション術」
～私の働き方、生活リズムを伝えよう～
堀 香苗氏 (株式会社キャリアママ代表取締役 CEO)

12月10日(日) 9:30～12:00
「復職後の再就職を立ち上げよう！」
～それぞれの進路を再考しよう～
林田 香苗氏 (ワンライフ LLP代表)

富山県民共生センター「サソフォルテ」
産休・育休中または産休・育休をこれから取得予定の女性 西部30名程度
5か月～就学前まで 定員あり
先着順 (定員に達するまで申し込みを受け付けます)

主催 富山県 愛読者 / (公財) 富山県女性財団

I
学び直しを通じたオーダーメイド型キャリア形成支援

学内講座

2019年度 富山大学サテライト講座

“知りたい”をこころ～富山大学の“知”と出会う～
多彩な専門分野を有する富山大学の教員陣が、ご自身の研究成果を皆様に向けてわかりやすくお話しします
各講座とも申し込み・受講料は不要ですので、お気軽にご受講ください。

時間 14:00～15:30 定員 各講座とも80名程度 会場 富山駅前 CICビル3階 学習室

第1回 4/20(土) 「漢文訓読とはいかなる言語活動なのか」
人文学部 教授 小嶋川 真次

第2回 5/25(土) 「介護ロボットが知るとする？」
大学院理工学研究部(工学) 教授 中嶋 一郎

第3回 6/15(土) 「古代青銅器にスタンプ文様?—驚異の精密・量産技法—」
芸術文化学部 教授 三越 遼尚

第4回 7/6(土) 「なぜ、怖い? 覚醒剤乱用」
大学院医学薬学研究部(薬学) 教授 新田 淳美

第5回 9/7(土) 「悪質商法の心理術と法の対策—知識を身につけて被害を回避しよう」
経済学部 教授 立石 孝夫

第6回 12/14(土) 「化石から探る恐竜時代の地球環境」
大学院理工学研究部(都市デザイン学) 教授 佐野 高一

第7回 2020/1/11(土) 「食欲を司る脳内機構—魚類の研究から解った事実—」
大学院理工学研究部(理学) 教授 松田 悟平

第8回 2/1(土) 「よくわかる発達障害—当事者の困りの理解と合理的配慮—」
人間発達科学部 准教授 水戸 龍和

第9回 3/7(土) 「隣がんをはじめとした隣腫瘍の最新の診断・治療」
大学院医学薬学研究部(医学) 教授 藤井 勇

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門
TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033

富山大学で学びませんか? 2019年度前期 富山大学公開講座

受講料 無料

講座名	開催日時	定員	受講料
韓国を知らず(韓国)	4/6-8(10/20-22)	150	9,300円
韓国、その歴史と文化(韓国)	4/10-12(10/20-22)	150	9,300円
この15年の韓国可能なデザイン(その1)デザイン基礎情報(その1)	4/10-15(10/20-25)	50	6,300円
富山の自然と植物学(その1)植物学を学ぶ	4/12(10/20)	40	7,300円
動物学を学ぶ(伊勢動物)を知らず	4/17-17(10/20-20)	60	7,300円
動物学のための動物学(その1)動物学を学ぶ	5/8-8(10/20)	100	8,300円
心算九九(その1)心算九九を学ぶ	5/11-11(10/20)	100	8,300円
この15年の韓国可能なデザイン(その2)デザイン基礎情報(その2)	5/22-22(10/20)	50	6,300円
材料のしるし(その1)材料のしるしを学ぶ	5/25-25(10/20)	40	7,300円
海洋環境の変化と地球環境(その1)	6/7-7(10/20)	70	6,300円
この15年の韓国可能なデザイン(その3)デザイン基礎情報(その3)	6/28-28(10/20)	50	6,300円
食から見たロボット	9/30-30(10/20)	80	8,300円
フランス語基礎	4/6-22(10/20-26)	150	9,300円
フランス語中級	4/6-22(10/20-26)	150	9,300円
フランス語上級	4/6-22(10/20-26)	150	9,300円
韓国語基礎	4/6-8(10/20)	150	9,300円
韓国語中級	4/6-8(10/20)	150	9,300円
韓国語上級	4/6-8(10/20)	150	9,300円
英語基礎	4/22-47(10/20)	150	9,300円
英語中級	4/22-47(10/20)	150	9,300円
英語上級	4/22-47(10/20)	150	9,300円

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門
TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033

富山大学で学びませんか? 2019年度後期 富山大学公開講座

受講料 無料

講座名	開催日時	定員	受講料
韓国を知らず(韓国)	6/28-29(10/20-21)	150	9,300円
韓国、その歴史と文化(韓国)	6/30-1/4(10/20-24)	150	9,300円
この15年の韓国可能なデザイン(その2)デザイン基礎情報(その2)	7/10-10(10/20)	50	6,300円
動物学を学ぶ(伊勢動物)を知らず	7/10-10(10/20)	60	7,300円
動物学のための動物学(その2)動物学を学ぶ	7/17-17(10/20)	100	8,300円
心算九九(その2)心算九九を学ぶ	7/17-17(10/20)	100	8,300円
この15年の韓国可能なデザイン(その4)デザイン基礎情報(その4)	7/24-24(10/20)	50	6,300円
材料のしるし(その2)材料のしるしを学ぶ	7/24-24(10/20)	40	7,300円
海洋環境の変化と地球環境(その2)	8/7-7(10/20)	70	6,300円
この15年の韓国可能なデザイン(その5)デザイン基礎情報(その5)	8/28-28(10/20)	50	6,300円
食から見たロボット	9/30-30(10/20)	80	8,300円
フランス語基礎	9/28-10/4(10/20-26)	150	9,300円
フランス語中級	9/28-10/4(10/20-26)	150	9,300円
フランス語上級	9/28-10/4(10/20-26)	150	9,300円
韓国語基礎	10/4-10(10/20)	150	9,300円
韓国語中級	10/4-10(10/20)	150	9,300円
韓国語上級	10/4-10(10/20)	150	9,300円
英語基礎	10/22-47(10/20)	150	9,300円
英語中級	10/22-47(10/20)	150	9,300円
英語上級	10/22-47(10/20)	150	9,300円

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門
TEL 076-445-6956 FAX 076-445-6033

II 富山大学連携オーダーメイド型コース

1. 女性のためのキャリア UP 支援講座

◇主な対象者

育休産休中の女性，就職（再就職）を希望する女性及び就業中の女性

◇目的

・キャリアコース

自己理解，コミュニケーションコーチング及びプレゼンテーション能力開発などの講座により，自分自身の適性や能力を把握し，就職に対する方向付けや意欲を高めてもらう。

・教養コース

新聞記事の読み方とおして，社会に参画していることの気づきのプロセスの後，効率よく仕事の生産性を上げる手法などについて習得してもらう。

大学コンソーシアム富山（7 高等教育機関）とも連携し，社会・ビジネスへの関心を高くもったキャリア形成や，キャリアアップへ向けたサポートを提供した。

文部科学省 令和元年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

富山大学男女共同参画推進室 学びのコーディネーターデスクのご案内

「出産で一度は離職したけれど，また働きたい！」「新しい仕事に挑戦してみたい！」…だけど，ちょっと不安が…そんな時は，富山大学男女共同参画推進室の「コーディネーターデスク」をご利用ください。女性がそれぞれのライフステージで，学び直しやスキルアップを図りながら安心して働き続けることができるように無料で相談・支援を行っています。どうぞ，お気軽にご相談ください。

受付：男女共同参画推進室（下記お問合せ先）平日9時～16時 お電話またはメールにてご連絡ください。

女性のためのキャリアUP支援講座 受講 無料 託児 無料（先着順）

支援講座は1講座だけでも受講いただけます。雇用保険受給中の方は「求職活動実績」として認定されます。

育休復帰に向けてブラッシュアップしたい！
 子育てしながら仕事を始めたい！
 再就職して能力を発揮したい！

そんな女性を応援するため，10回シリーズでキャリアUP支援講座を開催します。

会場：富山県民共生センター「サンフォルテ」
 富山県富山市湊入船町6-7

キャリアコース（全5回）

第1回 9/11 (水) 13:30～15:30 研修室308 自分らしく前向きに働く～ワタシ流！キャリア講座～ 講師：浦井啓子（大づくり・学び舎）	第2回 9/18 (水) 13:30～15:00 研修室308 「傾聴」～より良い信頼関係のために～ 講師：廣川奈美子（フリーアナウンサー）	第3回 9/25 (水) 13:30～15:30 研修室304 お互いを尊重するコミュニケーション～相手に伝えるコツ～ 講師：吉谷奈穂子（編劇・ソレイユ）	第4回 10/5 (土) 13:30～15:30 研修室308 輝く女性のためのコーチング～使える！効く！コミュニケーション術～ 講師：山口ひとみ（NPO法人育自の魔法）	第5回 10/20 (日) 13:30～15:30 研修室308 「女三界に家なし」から「多様な社会での働き手」～女性の働き方改革～ 講師：野口教子（高岡法科大学）
--	--	---	---	--

教養コース（全5回）

第6回 10/23 (水) 13:30～15:30 研修室308 10分！新聞を読む方法～仕事と育児のスキマ時間を生かす～ 講師：新聞香織（北日本新聞社）	第7回 10/30 (水) 13:30～15:30 研修室308 くらしの中の情報セキュリティ～プライバシーとコンプライアンス～ 講師：鈴木晃志郎（富山大学）	第8回 11/6 (水) 13:30～15:30 研修室308 仕事も家庭も自分の時間もうまくスマート段取り術 講師：ひびのあゆみ（講座コーチングスクール）	第9回 11/9 (土) 13:30～15:30 研修室308 情報を一体化しよう～物語分析に学ぶ～ 講師：近藤周吾（富山高等専門学校）	第10回 11/17 (日) 13:30～15:30 研修室308 キャリアデザイン～新しい一歩を踏み出すために～ 講師：高木綾子（富山短期大学）
---	---	--	--	---

～女性のためのキャリアUP支援講座の申込方法～
 お申込は メール・FAX にて受け付けます（電話申込不可）。（受講は45名まで・託児は15名まで先着順です。）各講座終了後 特別個別相談会（就労・育児・健康）も実施いたします。お気軽にお申込みください。
 件名を「【申込】女性のためのキャリアUP支援講座」として，次の①～⑦の事項を記入のうえ，お申込みください。
 ①希望の回 ②氏名 ③年齢 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号，メールアドレス，FAX番号 ⑥託児の有無 ⑦個別相談の有無

お問合せ・お申込み：国立大学法人富山大学男女共同参画推進室
 TEL：076-445-6083 FAX：076-445-6063 E-mail：smart@ctg.u-toyama.ac.jp

主催：文部科学省令和元年度学び・キャリア形成支援事業実行委員会（富山大学，富山県，ハローワーク富山，富山県商工会議所連合会，富山県女性財団，北陸銀行，富山第一銀行）
 後援：大学コンソーシアム富山

第1回 9月11日(水)

自分らしく前向きに働く～ワタシ流！キャリア講座～

参加者
16人

講師：浦井 啓子（人づくり・学び舎）

講義の内容

ゴールは「自分のキャリアのたな卸し・自己理解とキャリアデザイン」。

1. 「キャリア」の辞書的意味は荷馬車が通ってきた轍（わだち）のこと



「ジョブキャリア」「ライフキャリア」の意義があり、人の人生・経歴そのもの

ライフイベント（結婚、出産、子育て等）の多い女性のライフキャリアを半円のレインボーに記入

2. キャリアデザインとは、自分が主体的に目標と目的を設定し、修正しながら前進して生きていくこと。「自己理解（自分を知る）⇒職業理解（職を知る）⇒マッチング」の流れでキャリアを形成する。
3. 「価値観」「能力」「興味、関心のあること」からなる「キャリアの構造」。
この3つのバランスをとっていくことにより、心の健康を保ち、夢や希望を叶えることがスムーズに
4. 「計画された偶発性」理論を理解し、様々に起こる事象を自分の学びに返還していくことが大切
5. あなたの人生の主人公はあなた「You are The CEO of your life.」

参加者の感想

- 「計画された偶発性」理論を知らなかったなので、勉強になった。周囲に自分の望みを合わせることなく、自分の望みを否定せず自分にぴったりの居場所を、柔軟性・楽観性を持ち探そうとやる気ができました。(30代)
- キャリアプランがイメージできて、また自己理解を深めることができ良かったです。(30代)
- 育児休暇中にとっても有意義な時間になりました。(30代)
- 今、求職中で家庭的にも人生のステージを変えようと思っていた時期であった。(40代)

「女性のためのキャリアUP支援講座」第1回として、キャリアカウンセラーの視点からのお話をいただいた。自分の人生の使い方、自分の価値観は何か、自分軸を構築するためにはどういう時間の使い方をしていくか考えた。子供の成長、両親の事を背景に、自分の仕事、家事の幅、実現したいことを書き込んでいく。キャリアは計画通りに進んでは行かないが、それを良い風に捉えて学びの場とし、柔軟性と楽観性をもって自分のキャリア形成に取り組んでいく事を学んだ。参加者は「キャリア」についての知識や充実のために参加された方が多く、就職への意欲の高さを感じた。とはいえハローワークに行けば現実をまのあたりにし、求人に自分を当てはめて考えがちという現実もある。仕事に自分を合わせるのではなく、自分がやりたい仕事の中から選んでいくこと、それが主体性を持つということである。自分のやりたい事をおこなうにあたり、家事育児とのバランスについては自分や家族とも話し合う必要があると、講師の実体験としてお話くださった。ラストの言葉「You are The CEO of your life.」が参加者の胸に深く響いていた。



「傾聴」～より良い信頼関係のために～

参加者
11人

講師：廣川奈美子（フリーアナウンサー）

講義の内容

1. より良い人間関係を築くために重要なスキル、それが「傾聴」
 「聞く」 } の違いについての確認
 「聴く」 }
 2. 米国心理学者カール・ロジャースによって提唱されたアクティブリスニングの3原則
 「共感的理解」「無条件の肯定的関心」「自己一致」
 傾聴時の座る位置や、言い換え、鸚鵡返しなど実践的な技術を織り交ぜながら、3人一組になってワークショップ
 3. 自己紹介から始まり、実際に話し手、聞き手、オブザーバーの三つの役割を順番に体験
 4. 感じたことや気づきなどを共有
 5. 人の話を聞くときの7つの注意点
- ※実生活の中で家族、夫、子供に対するコミュニケーションツールとして持ち帰り使用してほしい。

参加者の感想

- ワークを含め、考えを深めることができました。(20代)
- 実践的で身になりやすい。(30代)
- 子育て中の子どもの話をよく聞くことがあるので、活かしたい。(30代)
- 普段の自分を振り返り、相手との関係の大切さを知りました。
 先生の声が好きです、話も分かり易く楽しかったです。ありがとうございました。(40代)
- 傾聴の大切さをより深く理解することができました。
 具体的に聞くことができ、本当に良かったです。自分のものにしていきたいです。(40代)
- 自分の話し方、聞き方が下手すぎて情けなくなった。(50代)
- 傾聴をより深く理解できて、さっそく夫子供に実践していきたいです。例をたくさん挙げてくれたのでごく解りやすかった。(30代)

「女性のためのキャリアUP支援講座」第2回として取り上げられた「傾聴」はコーチングやカウンセリング等で使用される、最もすぐにやってみることができるコミュニケーションツールである。また、日常生活で家族や子供に言いがちな「どうして」「なぜ」など、結果的に人を攻めてしまうような表現を使用せずに過ごしてみるとの提案があった。この「傾聴」ツールは、最も小さなコミュニティである家族から、自分の将来の勤務先まで使用できる。また、ワークショップでは自身の紹介として、好きなこと、心が動いたこと等を話し、聴くことの面白さ、言葉の感触を体感できる講座となった。「話す」という投げられたボールも、聞き手が頷きや相槌などで一旦受け止める事で、個々の発言や存在までも大切にされたと感じ、話し手の気持ちの変化を感じた。中には話をしていて涙する参加者もいて、初対面同士でも受け止めてもらえる安心感、充実感を味わうことの出来る有意義な講座となった。



第3回 9月25日(水)

お互いを尊重するコミュニケーション ～相手に伝えるコツ～

参加者
16人

講師：吉谷 奈艶子（株式会社 ル・ソレイユ 代表取締役）

講義の内容

1. 本日のゴールは「お互いを尊重するという本質の理解，相手に伝える方法が解る」
2. ・お互いを尊重するコミュニケーションとはどんなことなのか
・相手に伝えられない理由は何か
※その際「難しい」という言葉を使用しないルール
「難しい」という言葉にまつわる記憶が蘇り，自分には「難しい=できない」と暗示をかける言葉 } グループで討議
3. ドラえもんキャラクターの性格や話し方について討議⇒では，自分たちはどうか？
自分は思いの何%を伝えているのか？
4. 目玉焼きの食べ方のことで，自分のこだわりを話す
※「私は」という「Iメッセージ」で話す伝え方で行う⇒話をしてみてどうかを共有
つい使いがちな「YOUメッセージ」では評価や断定の押付けになりがち
↓
反発や否定が返ってくることが多い
5. アサーション⇒「相手の話を受け取ってから，自分の意見を主張する権利がある」
対話では感情もやり取りしているので感情を伝えても良い

参加者の感想

- とても充実した講座だった。ぜひやってみようと思います。(30代)
- 人それぞれの価値観，考え方，「違い」を尊重することの大切さに気づけた。(30代)
- アサーションを学びたいと思っていたので，良い機会になりました。コミュニケーションは言葉のやり取りではなく，「感情のやり取り」であると聞きハッとさせられました。コミュニケーションはお互いの感情や考えを認め合う行為なのだと認識しました。(30代)
- もっとワークしたいくらいです。(30代)
- とても勉強になりました。今回は就業活動中にご縁をいただき良かったです。また受講したいです。
- Iメッセージを心がけようと思いました。(30代)
- とても楽しい時間でした，もっと話を聞きたかったです。(40代)
- 考え方を学べたことが良かったです。(60代)
- 実践的でとてもためになりました。(30代)

お互いを尊重するという事は，お互いの価値観や考え方が違って当然であるという事を理解すること。Iメッセージには具体的な例文が挙げられて，受講者は素直に自分の気持ちや感情も伝えることを実践しやすく理解しやすい。また，ワークではタガが外れたようにもっと話したいという受講者が多く，時間が過ぎても受講者の話が止まらなかった。女性の自己表現が上手になる事も大切だが，話を否定せずに聞いてくれる社会づくりも重要であると感じた。啐啄同時（そったくどうじ：意味は，鳥の雛が孵化する際に内側から殻を突き，親鳥が外から殻を突きそれが同時に行われるの意。好機。）という言葉思い出した。



働く女性のためのコーチング ～使える！効く！コミュニケーション術～

講師：山口 ひとみ (NPO 法人 育自の魔法 代表取締役)

参加者
 15人

講義の内容

- 和やかな曲が室内に広がり、車座になって様々な人と膝を突き合わせてのワークショップから開始。
1. 自己紹介を名前、住んでいるところ、参加動機を話していく
 2. コーチ（馬車）とは、お客様をいきたい場所に連れて行く（主役はお客様）
 コーチとクライアントは対等で、答えはクライアントの中にある
 3. 「あなたが生涯をかけてやりたいことは何ですか？」⇒ペアを組みながら5回程、問い、答えるのみ
 4. 山口先生と受講者一人とのコーチングを実践⇒どんなことが行われていたか、気づきを話し合う
 5. コーチングの5つの特徴⇒①傾聴（レベルは3段階）拡大質問と反映
 ②行動と学習（要望と確認） ③好奇心 ④認知
 6. グランドルール①自分を大切にしよう ②相手を大切にしよう
 ③お互いを大切にしよう ④この場を大切にしよう（守秘義務）
 ルールを意識し、再度「あなたが生涯をかけてやりたいことは何ですか？」の問い、答えのペアワーク
 7. 輝く人生を送るための3要素 ①好き ②得意 ③強み をリストアップして書いたり話してみよう
 今回の感想を、受講者が一人ずつシェア

参加者の感想

- コーチングの面白さを知ることができたから楽しい2時間でした。(30代)
- 頭の中で悩みがグルグルしていたのが、自分の現在の悩みが明確になった。行動と学習のサイクルがとても重要であると気づいた。それにはまず自分を良く知り、自分自身を大切にすることで相手と良い関係を築くことが出来るとわかりました。(30代)
- 行動したいことが増えた。(40代)
- 託児もあるので集中できて講座を聞き、キャリアアップに繋がられ、ありがとうございます。(30代)
- 明確になったところがある、来年も受講したい。(60代)

2時間でコーチングを教え学ぶことは、講師も受講者も難しかったと思う。ただ、ワークショップを行うにつれ、受講者の顔が文字通り輝いてきた。相手を認めて傾聴し、拡大質問し、行動と学習を繰り返していく課程を学んだ。カウンセリングとの違いは、行動を推し進めていくこと。悩みを聞くと、つついアドバイスしがちだが、答えはそれぞれの中にある、それを質問で引き出していく。

講師から「大人だって頑張って描いた絵を、「こんな風に描けた」と誰かに認めて欲しい。私たちは、失敗がやはり怖い。でも失敗しても死なない、自分が悪いのではなくやり方が違っただけ。正解などない。」との応援の言葉もいただいた。

受講者が、辛い事や悩み、夢に対して自分がどう行動するかを考えていただけで、コーチングや今回の講座の後のコーディネート業務にも関心を持ってもらえた。



第5回 10月20日(日)

「女三界に家なし」から「多様化社会での働き手」～女性の働き方改革～

参加者
4人

講師：野口 教子（高岡法科大学）

講義の内容

200年ほど前「女三界に家無し」⇒今は「経済の担い手」「眠れる資源」「含み資産」
富山県 女性の就業率全国2位，平均勤続年数3位，正社員比率は全国トップクラス
⇒なのに女性の管理職への登用 全国ワースト5

共働き世代の増加

子育て結婚世代の就業率増加

少子高齢化（労働人口の減少）

求められるスペシャリスト・ゼネラリスト

キャリアアップ・スキルアップ



コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力のUPが必要

プレゼンテーション能力について

最終目的は「聞き手に行動を起こさせること」

種類は3つ 1. 問題解決型プレゼンテーション（スタンダード）

2. 情報提供型プレゼンテーション

3. 感動系プレゼンテーション

ポイント

1. 問題の深刻性と原因

2. 解決策と概要

3. 解決策と効果

4. 解決策・実行可能性

就活に向けて

・自分の強みと自己分析

・情報収集

・再就職支援を利用しよう

参加者の感想

○プレゼンテーションはただ一方的に情報を与える方法ではなく、聞き手に納得させ、行動を起こさせることが目的だと勉強になりました。自分から発信しないと、相手の協力も得られないことがわかりました。（30代）

○子育てしながら働いていた先輩のお話としても、とても意欲をもらいました。（30代）

○このような講座を続けて欲しい。（60代）

女性が働くということについての働く主体側、それを客観視する側の考え方の変化や、富山県が女性の就職率に於いては全国では3位だが、女性の管理職への登用率は、ワースト5に入るというのはどういうことなのか。県内と全国の比較が何を物語っているのか、差はどのように生まれるのか。講師の話から、この現実への検証が重要で、単に憶測だけではいけないとは感じた。富山県の夫の家事育児の参加割合は2割。少子化の問題を解決したいのであれば夫の家事育児参加は不可欠であり、例えばそれをこの講座で学んだプレゼンテーションのポイントを押さえて、発信していく必要がある。そのためにも自己分析、情報収集の必要性を感じた。最後に「女性たちは可能性に満ちている」の言葉が受講者を勇気づけた。



10分で新聞を読む法 ～仕事と育児のスキマ時間を活かす～

参加者
8人

講師：新開 香織（北日本新聞社）

講義の内容

産休後の社会復帰に当たって不安を感じなかったのは、読者か新聞非読者か。

→新聞読者 49%
 新聞非読者 37%

女性の社会復帰を応援する重要なツール

新聞とは

1. 社会との橋渡し役
2. 世の中の動きをざっくり知る
3. 各メディアの特徴比較
 - 新聞⇒一覧性, 解説, 主張, 保存性 (料理に例えるとコース料理)
 - テレビ⇒速報性, 臨場感
 - ウェブ⇒双方向, 圧倒的な情報量 (料理に例えるとビュッフェ)
4. 幅広いジャンルに触れる事が可能
5. 新聞の情報量 約本2冊分
6. 見出しと前文 (リード), ニュースにも大小がある 新聞にもある①頭②肩③おへそ
7. 朝パラの実践 (朝パラパラと新聞を読んでみよう!) 全ページめくり, 見出しだけを読む, 自分にピン!と来たものだけ読んでみる
8. 新聞をビジネス文書に活かす
9. 気になる記事を取り上げて, その理由を書いてみよう (グループになって発表しあう)
10. 新聞の見出し付けに挑戦! (イチロー, 高岡大和閉店, 朝乃山の記事に)
11. 子供の学力と新聞 2020年度から学校での新聞活用開始
 - ・文を読むことに慣れる
 - ・好奇心の刺激
 - ・考える力
 - ・自分の意見を持つ

長文を読ませて, 長文を書かせる時代へ
 「読んだ量は読解力に比例する」
 自分の言葉で言い換え, 解釈, 意味づけ, 整理できる力を育成

参加者の感想

- 初めて受講しました。今後も受講したいと思います。チラシを見て, もっと早く知っていたら別の講座にも参加できたのにと残念です。(50代)
- 無料でこのようなセミナーを受けられて, 嬉しいです。(30代)
- 教えていただいた新聞の読み方を, やってみます。(その後, 新聞の朝パラを続けているとのお声もいただいた。)(30代)
- 内容が幅広くて良かった。(30代)

今回の講師, 新開氏が参加者の方々と同世代ということもあり, 約30分間の質疑応答となった。終了時間まで新開氏に, 新聞についてコラムの書き手, 社説について, 新聞作りに何人の人が携わっているのか, シフト制で様々な時間に入ってくるニュースへの対応, ご自分も読書をして書く力を養っていることなどもお答えいただいた。子供の読書感想文の書き方も話題に上がり, 「質問をして子供が答えて話をした部分を書くようにアドバイスしている」と実用的なお話も。講義が終わった後で必ず講師への質問を受講者に促すが, 同世代の母親同士として同じ働く女性として, 質疑応答が絶えず深い交流ができた回となった。



第7回 10月30日(水)

くらしの中の情報セキュリティ ～プライバシーとコンプライアンス～

参加者
15人

講師：鈴木 晃志郎（富山大学）

講義の内容

地理学とは、地表面に生起する現象を空間的に分析・検討する。
人は常に空間上に「痕跡」をつけながら生活している。（今はビッグデータ内にも）
GeoIT の飛躍的進歩がユビキタス社会の実現の背景にあり、そのなかには地理空間情報も含まれる。

社会に復帰した場合に気をつけなくてはいけないこと

1. 情報セキュリティの3要素⇒1. 機密性 2. 完全性 3. 可能性
・実行ファイル，実行ファイルの偽装 } ソフト＋ハード環境の整備による防疫
・ウイルスの脅威 } セキュリティ意識を高める
・フィッシング詐欺
2. プライバシーの概念整理 古典的プライバシー
コントロール理論 最近のニュースで検証
コントロール
3. コンプライアンス＝企業倫理，法令遵守
例：不祥事によって会社等の団体全体のイメージが損なわれる
最近のニュースで検証（一つの眩きで、冗談のはずが世界を敵に回し
世界中から脅迫，会社の解雇など）
メールの送付の仕方（TO：CC：BCC：）の違い

参加者の感想

- 前半はコミュニケーションのお話とは違う内容でしたが、これはこれでとても勉強になる内容だったので受講することが出来てよかったです。（30代）
- 就職前にちょうど良い学びの内容と機会となりました。（20代）
- 本日はありがとうございました。地理のことをもっと聞きたい。解っているセキュリティの部分もあるけど、時々はこのように学ぶ機会があると良いように思います。
- とても良い講座なのに周知が足りてない気がしました。知り合いから教えてもらい、もっと受講したかった。（30代）

はじめは地理学と「くらしの中の情報セキュリティ」がどう結びつくのか解らなかったが、私たちはITやPC内にその「痕跡」をつけながら生活をしている事に気づかされた。全くの新しい観点からの情報社会における防衛の必要性を提示してくださった。ITの進化は予想以上に早く、産休育休等で企業のIT関係から離れた方々へのセキュリティの在り方や情報のキャッチの仕方をお伝えしたいという内容だった。私たちは超IT化社会に身を置き、スマホやPC等を使えば何かから監視され痕跡として残る。最新の情報やツール・方法に、アンテナを張っていないといけない時代と参加者も感じていた。



仕事も家庭も自分の時間もうまくいくスマート段取り術

参加者
21人

講師：ひびの あゆみ（銀座コーチングスクール）

講義の内容

1. 基本的な段取り

- ・具体的方法
- ・効率を上げる
- ・コミュニケーションスキル
- ・振り返り改善する

まとめ

- 段取りもトレーニングで上手くなる
- 改善点を楽しんで見つける
- 焦らない
- 諦めない
- 人生の段取りをしよう

2. プロセスシートを記入しよう！

物事を行うにあたってその過程を家族に知ってもらうために、表にして見える化を図ろう
 (完了時の状態, 必要なもの, 締め切り, 良かったこと, でなかったこと, 改善案)

3. 時間のマトリックス

重要度の高いもの低いもの, 緊急度の高いもの低いものをグラフ化しよう

4. ありたい姿を明確にしよう！

- ・仕事・家庭・自分のミッションを書き出す
- ・ここ三ヶ月11月, 12月, 1月にやらなくてはいけないことを書き出す
- ・妻, 母, 両親の娘, 町内会の役員, PTA 役員, 習い事, etc 自分の役割としてやらなければいけないこと, やりたい事を書き出してみよう

参加者の感想

- 今後の生活に活かせそうでした。(20代)
- とても具体的な段取り術を学べたので, 資料を参考にスケジュールを組んでみようと思いました。(20代)
- グループ活動があって, 対話しながら学べて良かった。アサーティブに伝える方法をもっと知りたかった。取り組みやすい内容で, 身に付けたいと思うスキルでした。(30代)
- 普段頭で描いているスケジュールを見える化する事が, 大事だと学べたから満足。(30代)
- 計画的に段取りして, 自分の時間を見つきたいです。(30代)
- グループの皆さんとシェアしながら話を聞くことができ, 嬉しかったです。仕事に復帰するがまたこのような講座に参加したいです。(30代)
- 今後に役立つお話をいただきました。早速実践していきたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。(20代)

家事や育児についてワンオペになる状況が多いと聞く。富山県は夫が家事子育てを手伝っている状況が2割という状況が続いている。夫婦で話し合い, 自分を知ってもらい助けてもらえる状況を作り出すことの大切さ, ヒントが散りばめられていた。プロセスシートや時間のマトリックス, ミッションを書き出す毎に, グループで話し合う時間を設けて, それぞれの価値観や悩み, 家事育児に日々追われている事を分析した。自分の時間を作り出すために, 講師はお子さんや旦那様に洗濯を分担してもらったり, 話し合いを諦めずに重ねている事もお話くださった。男性に対して理路整然と家事育児を見える化をして, 理論武装も大切, また, 焦らず諦めずに家族に助けを求めて, 何でもやりすぎてしまう主婦からそうでない主婦への提案をいただいた貴重な時間となった。



第9回 11月9日(土)

情報を一体化しよう ～物語分析に学ぶ～

参加者
8人

講師：近藤 周吾（富山高等専門学校 准教授）

講義の内容

「良いものを持っていても語らなければ意味がない」から始まったこの講座は、会話を物語と捉え、どうすれば効果的に人に伝えられるかについてのコツが紹介された。

◇アウトライン：①論理か、それとも物語か

②頭の良さなら論理、面白さなら物語

③物語分析に学ぶ情報の一体化

◇会話や小論文などでは、①たしかに、ふつうは～（譲歩）、②しかし、～（ポイント）、③なぜなら、～（論理）の説明の後、④たとえば、～（物語）という言い換え（アナロジー）をしてポイントを強調するのが効果的である。

◇魅せる「たとえば～」について、愛知医科大学の小論文の入試問題が提示され、それを例にしてアナロジーについてのわかりやすい説明があった。見るポイントを変えるといろいろな解決策が見いだせる。

◇受講者は、軽妙な先生の言葉を聞き逃さないように真剣に耳を傾けていた。

◇資料の配布が無かったこともあり、板書やパワーポイントのスライドに書かれた事柄を一生懸命に書き写し意欲的に講義に参加する姿があった。

参加者の感想

○視点を変えてみれば解決できることがあると言われたことが心にしみました。時間も2時間で内容も充実していて良かった。(60代)

○わかりやすく興味深い内容でした。文学と実生活が結びついて面白いと思いました。(40代)

○話し方、自己PR、プレゼンの仕方にも応用できると思いました。それぞれについて具体的に話が聞きたいです。(30代)

第9回は、8人（育児休業中1人、求職活動中3人、就業者3人、その他1人）が、「知識・教養を深めたい」、「仕事（キャリアアップ）に役立てたい」、「求職活動に繋がりたい」という目的で受講された。

講座のタイトルからは、文学の講義と思った受講者が多かった。

受講された方には、日常のコミュニケーションやプレゼンテーション、面接などにもとても効果があるこのアナロジーという手法を少しずつでもご自身の中に取り入れて、今よりもっと物語（会話）を楽しんでいただければと思う。



キャリアデザイン ～新しい一歩を踏み出すために～

参加者
10人

講師：高木 綾子（富山短期大学）

講義の内容

キャリアとは、誕生から将来にかけての自分の経験してきた人生の軌
 キャリアの三大理論 ホランドの理論・シャインの理論・スーパーの理論
 まずは自分を知るために、

パーソナルテストをやってみよう！6つの特性

1. 現実的 2. 研究的 3. 芸術的 4. 社会的 5. 企業的 6. 習慣的

アンカーテストをやってみよう！8つの特性

1. 専門職能別能力 2. 経営管理能力 3. 自律・独立 4. 保障・安定
 5. 起業家の独創性 6. 奉仕・社会貢献 7. 純粋な挑戦 8. 生活様式

自分の一歩を踏み出すために、以下の項目を書きだし、それをグループ内で発表しよう

- ①人生の目的, 目標
- ②踏み出す時の阻害要因, 必要条件
- ③阻害要因の解決策・必要条件の解決策

参加者の感想

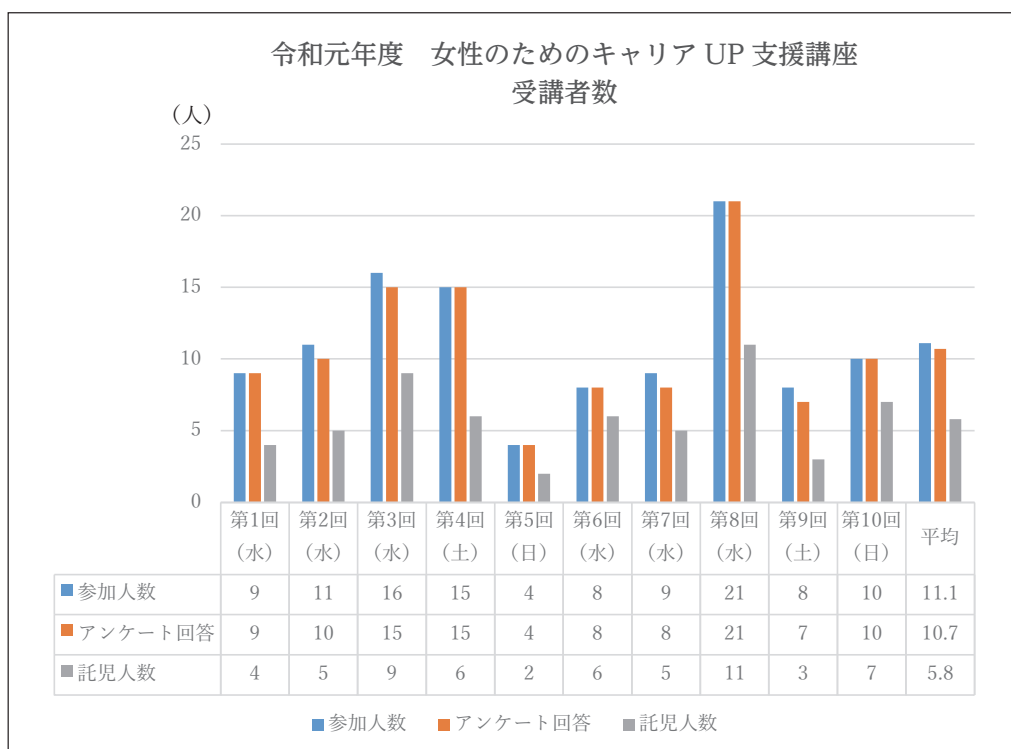
- 自分のやりたい事を再確認し、何で出来ないのか、どうしないといけないかを知ることができ、とても良かったです。自分の可能性に気づけた。(30代)
- ワークがあったり、周りの参加者の話も聞けたりして充実していた。(30代)
- 実践的であり、生活にきづきを与えていただいた。(40代)
- 先生のお話がとても分かり易く、楽しかったです。テストを受けることによって、自分を知ることができて良かったです。(40代)
- 難しいけどとてもわかりやすかったです。心理学に興味を持ちました。(60代)
- 託児もあって、良い機会をありがとうございました。(30代)

この「女性のためのキャリアUP支援講座」最後にふさわしい講座となった。2つのキャリア関係テスト（上記）を行い、グループ内でシェアを行った。自分がどんなタイプなのかを話し合い認め合うことも出来た。自分の能力を発揮できる職業は何なのか？自分の中で譲りたいもの、譲りたくないものは何か？話し合うことによって、お互いの違いや特性を認め合うことが出来る。目的や目標に向かって決意して言葉にしてみる。最後は参加者がこれからやりたい事や目的・目標を発表した後、講師からフィードバックをいただいた。参加者一人ずつのこれからの宣言、先生のフィードバックと参加者の拍手で、終了した。10回の講座をほぼ出席の方からこの回のみ出席の方までいらしたがそれぞれの決意や、先生のアドバイスをいただいた。受講者たちの可能性に満ちた表情が印象的だった。



2. 受講者のアンケート結果

1. 受講者について



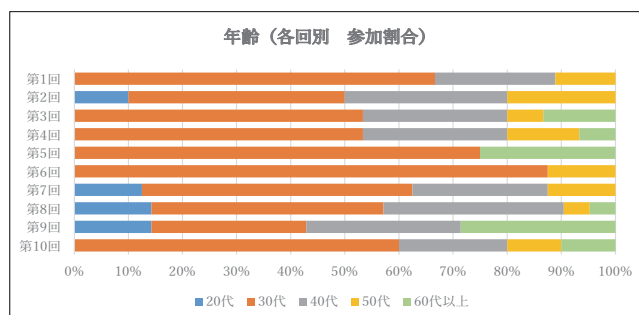
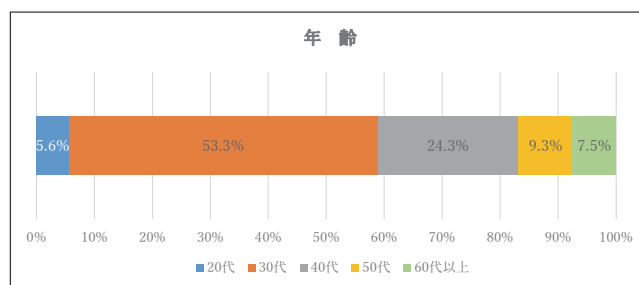
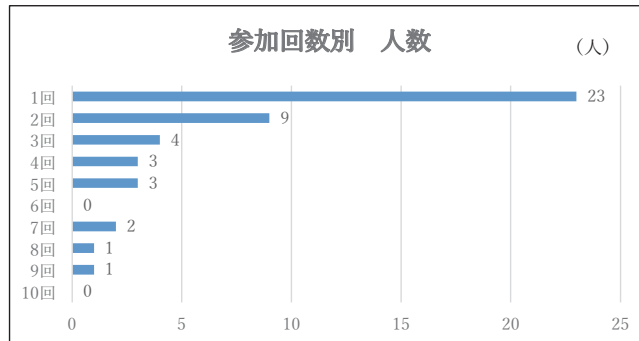
II 富山大学連携オーダーメイド型コース

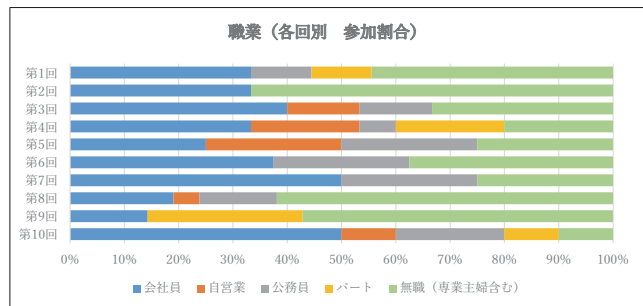
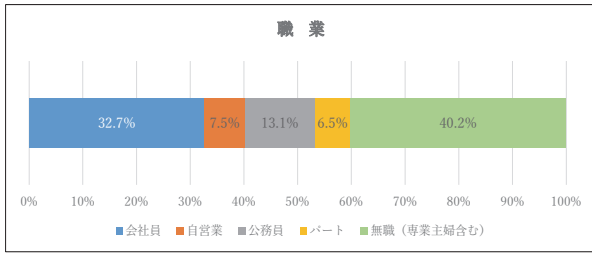
参加いただいた延べ人数は111人である。幼稚園・保育所・保育園・こども園、小児科・産婦人科、市役所・市役所出先機関、図書館・児童館などの公共機関を中心にリーフレットを配布した。

参加者が最も多かった回は第8回で、21人であった。女性が働いていても子育てや家事が女性担当となってしまうことに対して、どう工夫していくかという講座内容であった。

富山県の「男女共同参画の推進の状況及び男女共同参画推進施策の実施の状況についての報告書<2019年版富山県の男女共同参画>」では夫が負担している家事・育児の割合は2割であり、残りの8割は女性が担当している。この現状の解決のための手がかりを、学びにいらした方が多かった。

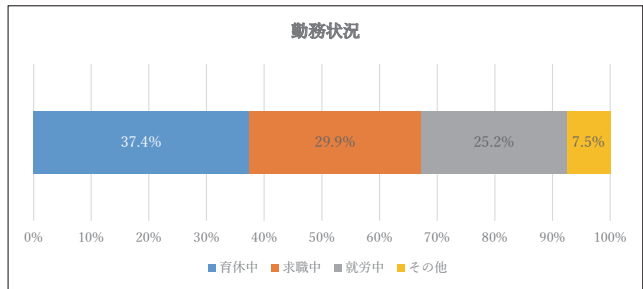
受講者の年齢は30代が半分以上を占め、40代の女性と合わせて80%弱の参加となった。各講座間で参加者の年齢層に大きな差は見られない。



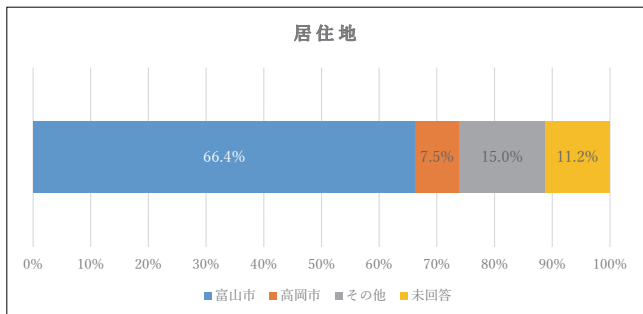
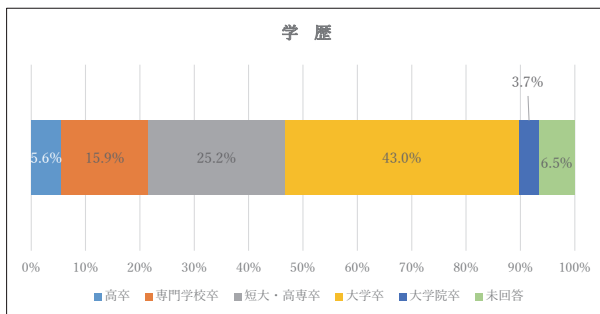
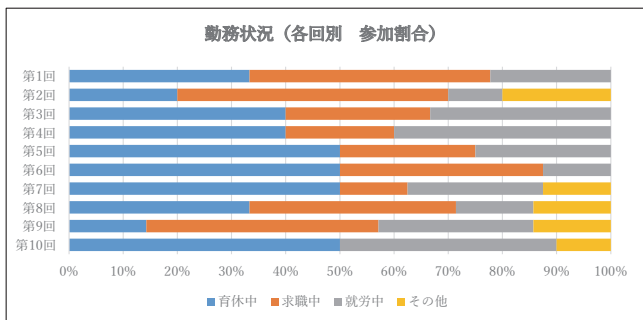


各回の受講者には、受講時にお子さんを預ける託児利用者が必ずいた。アンケート回答者は延べ107人、託児人数は延べ58人であった。

受講者は育休中か求職中という方が多く、合わせて約67%だった。ただ就労中にも関わらず27人(全体の約25%)の方に受講いただき、働いていても学びたいというニーズがあることがわかった。企業にも、女性がこのような学びや研修に参加する際は、勤務と同じ扱いとするように働きかける必要がある。

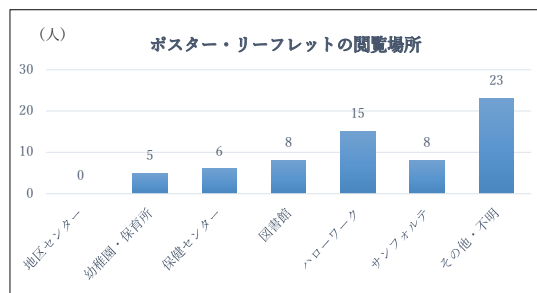
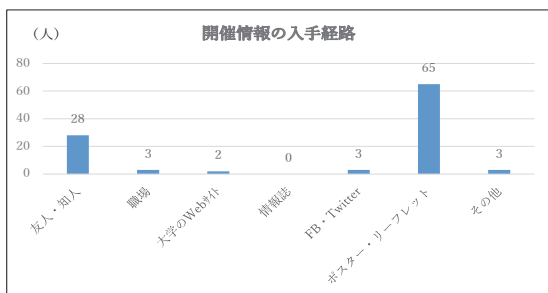


学歴は大卒が46人で43%と、約半数が大卒である。居住地は富山市が70人で、約66%を占めていた。参加者が子供連れの場合、遠くからの公共交通機関利用者は少ないと考えられる。



2. キャリア UP 支援講座 開催情報の入手経路

前年度効果があった幼稚園・保育所・保育園・こども園の保護者に、個別に渡るようにリーフレット約5,100枚を配布した。その他、県内図書館、保健福祉センターに配架を依頼した。今年度新たに育児休暇中・休業中の方により届きやすいように県内小児科、産婦人科など約70箇所の病院にリーフレット約1,400枚の配架及び掲示を依頼した。その他に町内会の班回覧板での周知を考えて地区センターに依頼した。富山市の五福地区センターが大学の校区内ということで、町内会の班回覧に入れていただけるということになり、350枚を配布した。最終的にリーフレットは合計約1万枚を配布配架した。



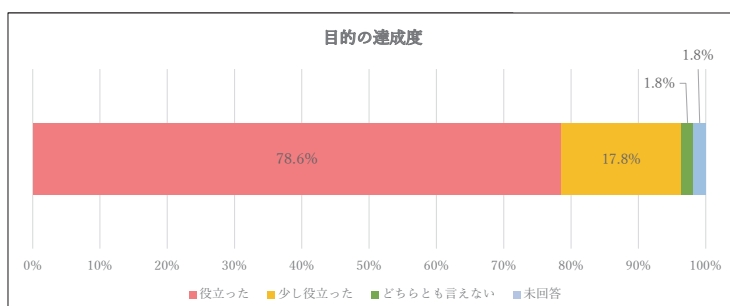
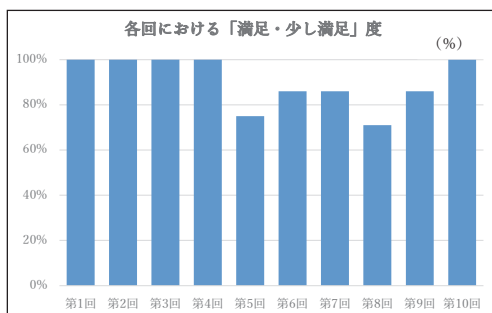
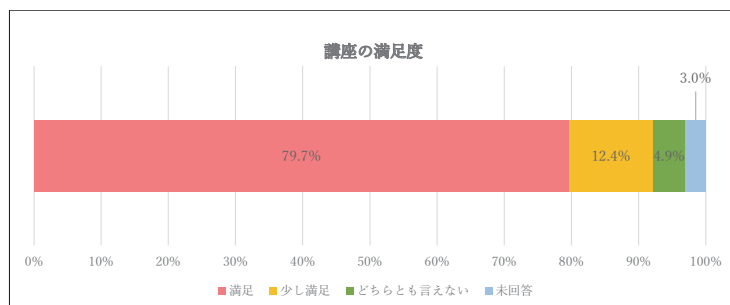
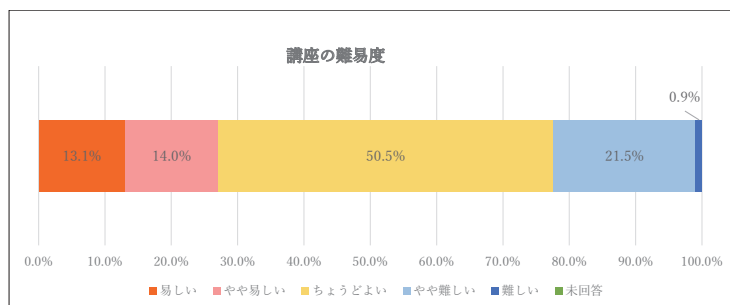
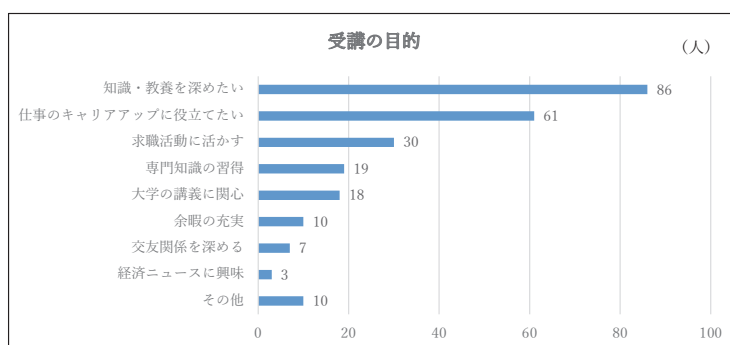
3. 受講の目的

受講の目的については多い順に並べると、①知識・教養を深めたい②仕事のキャリアアップに役立てたい③求職活動に活かすと続く。①の回答が延べ人数では86人を超え、学びに対する意欲が高い事が解る。また、仕事のキャリアアップにも役立てたい方も多く、自分の人生において仕事の意味の再確認や得意分野を活かし、社会にどう貢献できるかを問い直す必要性を感じている方も多いようだ。

4. 講座の難易度・満足度・達成度

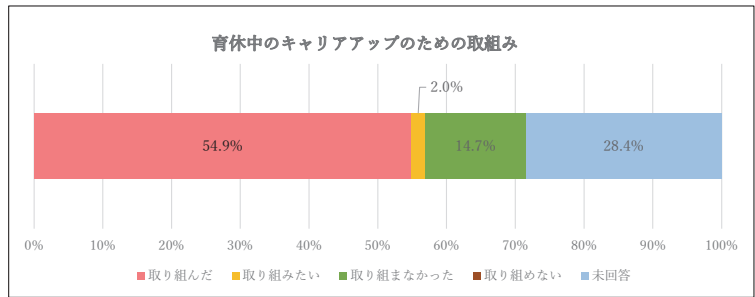
講座の難易度においては「ちょうど良い」が50%以上、満足度においては「満足」「少し満足」を合わせて、約92%の方々に満足いただけた。時代に合った内容、或いは求められていた内容の講座を提供できたと考える。

各回毎の満足度もグラフ化した。どの回も高い満足度が得られた。今回の講座に対する目的の達成度も高く、「役立った」「少し役立った」の計で約96%の方が目的を達成したと回答した。講座内容も再現性の高いものであったと認識している。



5. 育児休業中（過去または現在）の、キャリアアップのための取組について

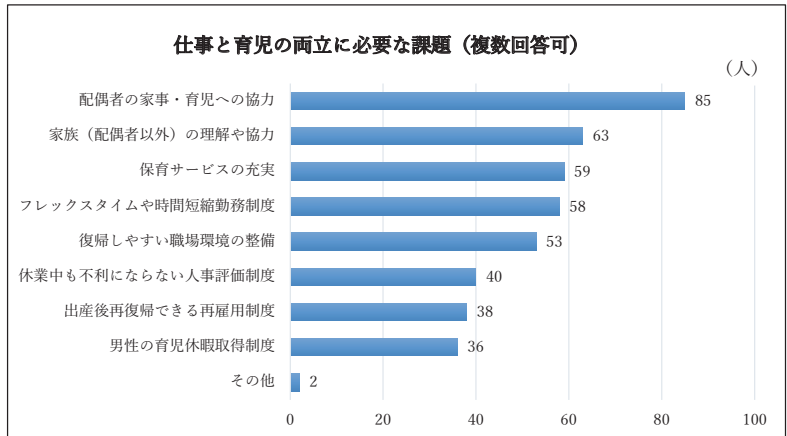
標記の質問に取り組んだと答えた方が56人（約55%）と、受講者の半数ほどであった。昨年度に比べて20ポイント程増加している。内容としては、「このキャリアUP講座」「放送大学 講座」「日商簿記」「英検・TOEICの勉強」「エクセルなどのパソコンスキル資格講座」「ハローワークでの講座」「プログラミング講座」「健康管理士」「秘書検定」「漢字検定」「資格の取得」など、多岐に渡る取組をされていた。



また、15人の「取り組まなかった」は比較的年齢層が高く、「育児と家事に追われていてできなかった」「このような講座は無かった」などのお答えをいただいた。また「未回答」の方も多く、未婚の方、お子様のない方もこの講座に参加いただいた事がうかがえる。

6. 仕事と育児の両立への課題

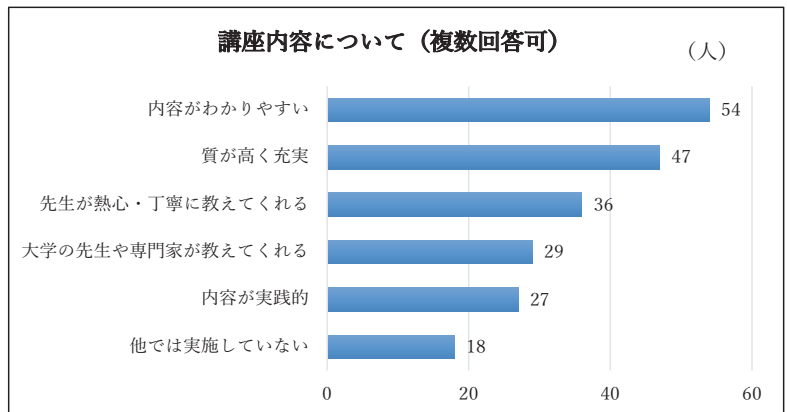
今回のアンケート結果で、参加者が最も必要とした課題は①配偶者や②家族の家事・育児参加や協力であった。この内容はほとんど昨年度のアンケート結果と同じであり、いかに結婚し働いている女性が家族（特に配偶者）に協力を求めているかがうかがえる。富山県の「男女共同参画の推進の状況及び男女共同参画推進施策の実施の状況についての報告書



<2019年版富山県の男女共同参画>」によると、配偶者の家事・育児参加協力の割合は家庭内の家事全体の2割であった。女性の社会参加に向けて配偶者や家族がどのように家事・育児参加をしていくのかは、大きな課題である。

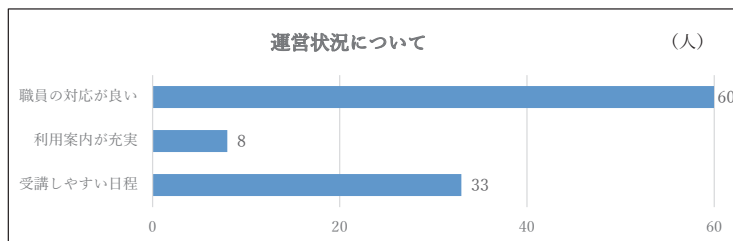
7. 今回の講座の「良いと感じられた点」について

講座内容について「良いと感じられた点」は①内容がわかりやすい②質が高く充実③先生が熱心・丁寧④大学の先生や専門家が教えてくれる、の順であった。この順位は、昨年度と大きな変化はない。



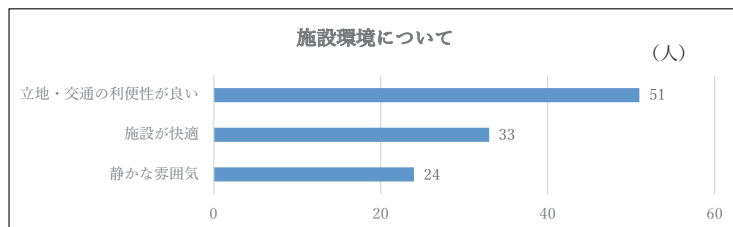
施設環境については、託児があり無料の駐車場が広いことを求める声が多かった。無料駐車場の完備は、地方都市の車社会ならではの求めら

れる点である。講座開催施設は「サンフォルテ」という富山駅から徒歩数分のところではあるが、子育て世代は車の利用者が多い。



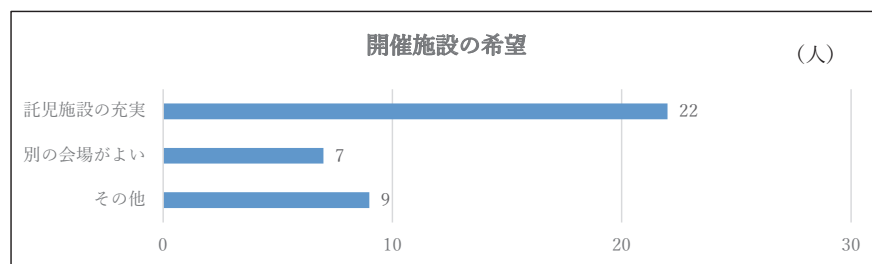
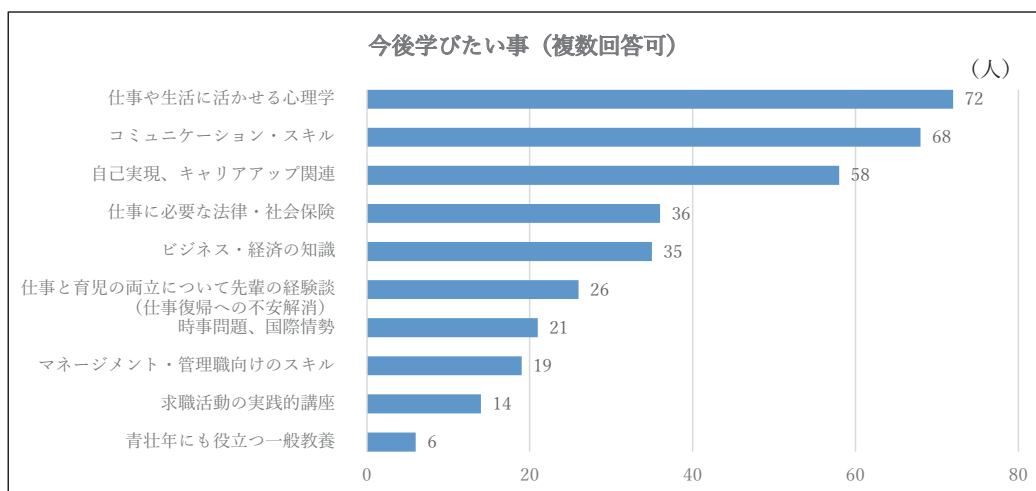
8. 今後学びたい事や講座、開催日時・開催施設等について

「今後学びたい事」の順位としては①仕事や生活に活かせる心理学②コミュニケーション・スキル③自己実現・キャリアアップ関連となっており、④仕事に必要



な法律・社会保険⑤ビジネス・経済の知識と続く。これも昨年度とあまり相違はなく、自分や周囲の方々と良いコミュニケーションを取り、より良い仕事を行いたいと考えている方が多い。

開催日時について、「平日の午後」の希望が多く「土日の開催」を求める声も有った。



回答のあった36人の内、33人が平日希望で残り3人は土曜日希望であった。ただし仕事に復帰すれば、土日を希望するとのご意見も3人からあった。時間帯については午前が3人、午後が23人、午前午後どちらでもが10人であった。比較的午後を希望される方が多かった。

今回の講座には育児休業中の方々が多く、受付時に受講者から託児のことで何度も感謝の言葉をいただいた。また、子育てが一段落して働きたいという女性も多かったため、託児施設の充実は必須事項である。